

VM5404H/VM5808H

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VM5404H/VM5808H 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2021 年 5 月 11 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②型番 CL から始まる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	3 年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。が、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
適合性に関する宣言.....	5
安全にお使い頂くために.....	7
全般	7
ラックマウント	9
本マニュアルについて	10
同梱品.....	11
マニュアル表記について.....	12
第1章 はじめに.....	13
概要	13
特長	15
システム要件.....	16
ソースデバイス.....	16
ディスプレイデバイス.....	16
ケーブル	16
ソースデバイス対応 OS	17
ブラウザ.....	18
製品各部名称	19
VM5404H フロントパネル	19
VM5404H リアパネル	20
VM5808H フロントパネル	21
VM5808H リアパネル	22
IR リモコン	23
第2章 セットアップ方法.....	24
ラックへの取り付け.....	24
製品の接地.....	26
ケーブルの接続.....	27
接続図	28
第3章 フロントパネル設定	29

概要.....	29
フロントパネルプッシュボタン.....	29
パスワードの入力.....	31
メイン画面.....	32
ポート切替.....	33
LCD メニュー構成.....	37
メニュープッシュボタン.....	38
IP 設定.....	38
シリアルポートの設定.....	40
操作モード.....	41
セキュリティモード.....	46
プロファイルの保存.....	49
プロファイルスケジュールの再生/停止.....	50
ビデオウォールの停止.....	50
プロファイルプッシュボタン.....	51
IR リモコン操作.....	53
出力ディスプレイに対する入力ソースの変更.....	53
出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF.....	53
出力ディスプレイ一括出力 ON/OFF.....	54
第 4 章 システム操作.....	55
概要.....	55
ログイン.....	55
メイン画面.....	57
メニューバー.....	57
プロファイルリスト.....	58
プロファイルの追加/再生.....	58
プロファイルの削除.....	60
プロファイルのインポート/エクスポート.....	62
プロファイルリストのオプション.....	63
プロファイルスケジュール.....	65
プロファイルにおけるビデオ設定の定義.....	68
通常表示におけるビデオ設定の定義.....	70
ディスプレイの設定.....	71
グリッド表示におけるビデオ設定の定義.....	78
システム設定.....	79
一般.....	80

ユーザーアカウント	82
ポート名	85
ネットワーク	86
EDID	87
メンテナンス	99
HDCP	100
OSD/CEC	101
ビデオ	102
状態の読み込み	104
第 5 章 モバイル操作	105
概要	105
ビデオマトリックスコントロールアプリ	106
システム要件	106
インストールと接続	106
操作インターフェース	107
第 6 章 CLI コマンド	110
概要	110
Telnet 経由でマトリックススイッチャーに接続するには	110
RS-232C 経由でマトリックススイッチャーに接続するには	111
コマンドの入力確認	112
コマンド	112
ポート切替コマンド	112
EDID コマンド	115
ミュートコマンド	117
CEC コマンド	119
スケーリングコマンド	120
ファン回転速度コマンド	124
エコーコマンド	125
画面暗転コマンド	126
読込コマンド	127
リセットコマンド	128
ボーレートコマンド	129
プロファイルの保存/呼び出しコマンド	130
OSD コマンド	132
警告コマンド	134
付録	136

製品仕様.....	136
Telnet 操作.....	138
設定メニュー	138

適合性に関する宣言

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告:この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



カナダ産業省による宣言

Class Aの本デジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A)

HDMI 商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

安全性

本製品は情報技術装置として分類されます。

安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は屋内でのみご使用できます。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。

- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源の上限を把握しておき、これを超えないように注意してください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VM5404H/VM5808H に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアルは下記のとおり構成されています。

- 第1章 はじめに:** VM5404H/VM5808H を紹介します。特長、機能概要、および製品各部名称について説明します。
- 第2章 ハードウェアセットアップ:** VM5404H/VM5808H のハードウェアセットアップの手順について説明します。
- 第3章 フロントパネル設定:** VM5404H/VM5808H の機能概要およびフロントパネルの LCD ディスプレイとプッシュボタンを使用したローカル側での操作方法について説明します。
- 第4章 ブラウザ操作:** VM5404H/VM5808H のブラウザ GUI に関する詳細な説明と、GUI を使用してリモートから VM5404H/VM5808H を設定・操作する方法について説明します。
- 第5章 モバイル制御:** ビデオマトリックスコントロールアプリの概要、およびセットアップ要件の詳細について説明します。
- 第6章 CLI コマンド:** 追加のソースデバイスが機能できるように、RS-232C シリアルポートを使用した際のシリアル操作プロトコルコマンドの表を記載しています。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

同梱品

VM5404H/VM5808H 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ VM5404H/VM5808H
4 入力 4 出力/8 入力 8 出力 HDMI マトリックススイッチャー (ビデオウォール対応) ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ IR リモコン (型番:2XRT-0106G) ×1
- ◆ IR レシーバー (型番:2XRT-0003G) ×1
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

ATEN の VanCryst シリーズ VM5404H/VM5808H 4 入力 4 出力/8 入力 8 出力 HDMI マトリックススイッチャー(ビデオウォール対応)は、多目的に使えるソリューションで、4/8 台の HDMI ソースからの HD ビデオと音声を 4/8 台の HDMI ディスプレイに任意に組み合わせて同時に出力することができます。本製品はマトリックススイッチャーとして、各入力信号を個別にまたは全てマトリックス状に出力させることができるので、マルチディスプレイオーディオ/ビデオを非常にフレキシブルに操作することができます。

VM5404H/VM5808H のシームレス切替機能は、FPGA マトリックスシステムアーキテクチャを採用しているため、複数のソースとディスプレイを途切れることなく切り替えることができます。VM5404H/VM5808H は、EDID エキスパートテクノロジーを搭載しているので、最適な EDID 設定を行い、スムーズな起動と最高品質の表示を実現させました。また、高性能スケーラー機能により、入力機器の解像度を出力ディスプレイの実効解像度に合わせてスケーリングするため、高画質を提供することが可能となりました。

VM5404H/VM5808H は、フロントパネルにある LCD ディスプレイ/プッシュボタンや IR リモコンから簡単に設定できます。また、LCD ディスプレイで全ポートの接続状況が一目でわかるようになっていて、オペレーターは本製品に内蔵された設定ユーティリティにアクセスすることもできます。

さらに、VM5404H/VM5808H は任意の Web ブラウザから直感的な GUI を使用して、簡単に設定や操作を行うことができます。更に、この GUI を使用してデジタルサイネージやビデオウォール設定も簡単に構築することができ、その設定内容を保存して、いつでも呼び出すこともできます。VM5404H/VM5808H は標準 TCP/IP 接続を経由して操作できるので、既存のネットワークに簡単に組み込んで、リモートアクセスを実現させることができます。VM5404H/VM5808H に搭載された RS-232C ポートを使用してシリアルリモートコントローラーや PC から本製品を操作することができるため、操作を完全にし、機器を統合させることができます。また、頻繁に使用する機能(例:プロファイルや A/V 入力の切替など)には、モバイル端末からビデオマトリックスコントロールアプリを使ってアクセスすることもできます。

VM5404H/VM5808H は、ステージにおけるプレゼンテーション、コンペ、制御室をはじめ、その他、リアルタイムでのコンテンツ表示が必要とされるケースのような、複数台のソースデバイスからの HDMI 出力を複数方向へ任意かつ便利に送信することが必要な場面への導入に適した製品です。

特長

- ◆ VM5404H は 4 系統、VM5808H は 8 系統の HDMI 信号をそれぞれ 4 または 8 系統にマトリックス分配切替
- ◆ HDMI (3D、Deep Color) および HDCP 1.4 準拠
- ◆ ビデオウォール対応 - 直観的なWebを使用して、ビデオウォールのレイアウトをカスタマイズ
- ◆ 高パフォーマンスなスケーラー機能により高画質を提供*1
- ◆ 複数台の入力デバイスを複数のディスプレイに切替・分配出力可能
- ◆ シームレス切替機能 - ATEN FPGA 搭載でビデオフォーマットを統合することにより、継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能*2
- ◆ EDID エキスパート機能 - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ EDID のカスタマイズが可能
- ◆ 複数の操作方法を提供 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232C およびイーサネット (Telnet/Web GUI) 接続によるシステム管理が可能
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ シリアルリモートコントローラー用の双方向 RS-232C シリアルリモートポート搭載
- ◆ 解像度 - HDTV 解像度 480p、720p、1080i、1080p (1920×1080)
- ◆ Dolby True HD および DTS HD Master Audio 対応
- ◆ CEC 準拠
- ◆ HDMI 接続は ESD 保護
- ◆ 3 階層、最大 32 ユーザーまでアカウント作成可能
- ◆ リモコン用 IR 信号に対応
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ フルメタルケース

***注意:** シームレス切替機能を有効にしている場合は、下記の点にご注意ください。

- ◆ ビデオ出力は、3D、Deep Color、およびインターレース解像度 (例:1080i) に対応しません。これらの機能を利用するには、シームレス切替機能を無効にしてください。
 - ◆ ビデオ出力が画面に収まらない場合があります。この場合は、お使いのデバイスで表示設定を調整してください。
-

システム要件

VM5404H/VM5808H のセットアップには、以下のデバイスが必要です。

ソースデバイス

- ◆ HDMI Type-A 出力コネクタを搭載したコンピューターまたは A/V ソースデバイス

注意： DVI ソースデバイスを接続するには、DVI/HDMI アダプターが必要です。

ディスプレイデバイス

- ◆ HDMI Type-A 入力コネクタを搭載したディスプレイデバイスまたはレシーバー

ケーブル

- ◆ 接続する各ソースデバイスに対し、HDMI ケーブル ×1
- ◆ 接続する各ディスプレイデバイスに対し、HDMI ケーブル ×1
- ◆ Cat 5e ケーブル ×1
- ◆ RS-232C シリアルケーブル ×1

注意： 本製品にはケーブルは同梱されていません。オーディオとビデオ表示の品質に影響するため、適切な長さの高品質ケーブルを購入されることを強く推奨いたします。適切なケーブルの購入については、販売代理店までお問い合わせください。

ソースデバイス対応 OS

本製品の対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	3.51 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.2 以降

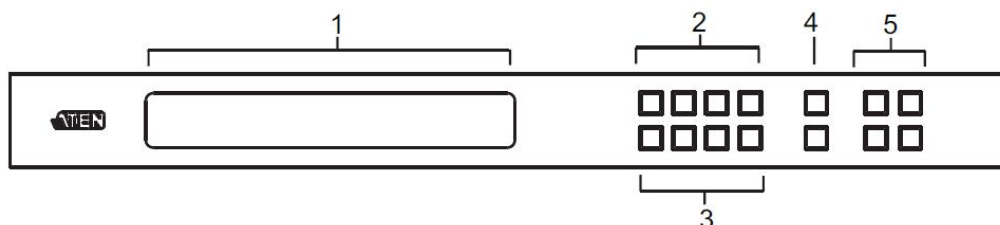
ブラウザ

本製品の操作に対応した Web ブラウザは下表のとおりです。

OS	Java バージョン	ブラウザ	バージョン
Windows 8.1	V1.8.0_60	Chrome	45.0.2454.85 m
		Firefox	40.0.3
		Safari	5.1.7
		Opera	31.0.1889.174
		IE11	11
Windows 2012 R2 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE11	11 (64 ビット版)
Windows 2008 R2 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE8	8
Windows 7 SP1 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	IE10	10 (64 ビット版)
Windows XP	V1.8.0_60	IE8	8
CentOS 7.0 (64 ビット版)	V1.8.0_60 (64 ビット版)	Firefox	40.0.3
Ubuntu 12.04	V1.8.0_60	Chrome	45.0.2454.85
Solaris 11 (64 ビット版)	V1.8.0_25	Firefox	33
Mac 10.10	V1.8.0_25	Safari	8

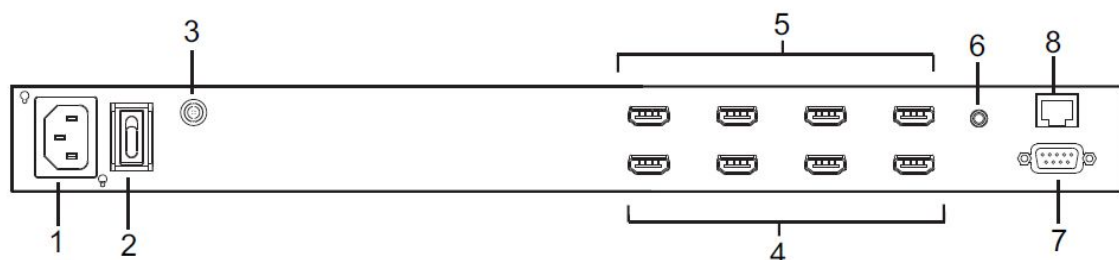
製品各部名称

VM5404H フロントパネル



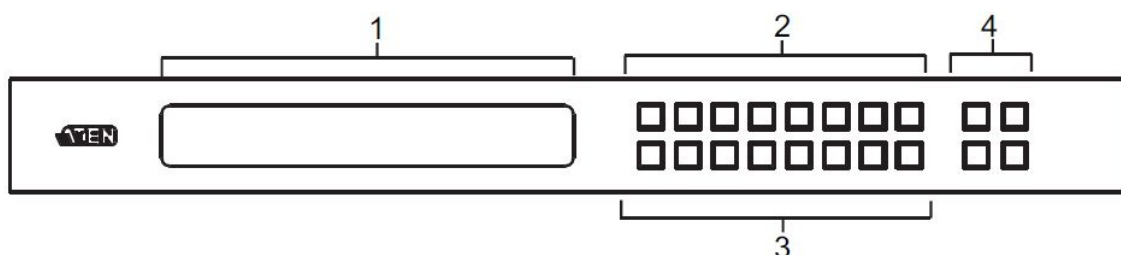
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイで全てのポートの接続状況が一覧でき、VM5404H の設定や操作に関する様々なオプションが表示されます。詳細は p.32「メイン画面」を参照してください。
2	入力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM5404H のリアパネルにある HDMI 入力ポートに関連します。このボタンを押して入力ポートを選択します。また、メニューオプションやプロファイル (P1～P4) などにも関連しています。 注意: 入力 (1～4) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
3	出力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM5404H のリアパネルにある HDMI 出力ポートに関連します。このボタンを押して出力ポートを選択します。また、プロファイル (P5～P8) などにも関連しています。 注意: 出力 (1～4) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
4	Prev/Next ボタン	このボタンを押すと、LCD ディスプレイに表示されるメニュー項目を前後に遷移します。
5	ファンクションプッシュボタン	ファンクションプッシュボタン (MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL) は、設定ユーティリティを搭載した LCD を操作するのに使用します。詳細は p.29「フロントパネルプッシュボタン」を参照してください。 注意: MENU と PROFILE フロントパネルプッシュボタンには LED ランプが内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。

VM5404H リアパネル



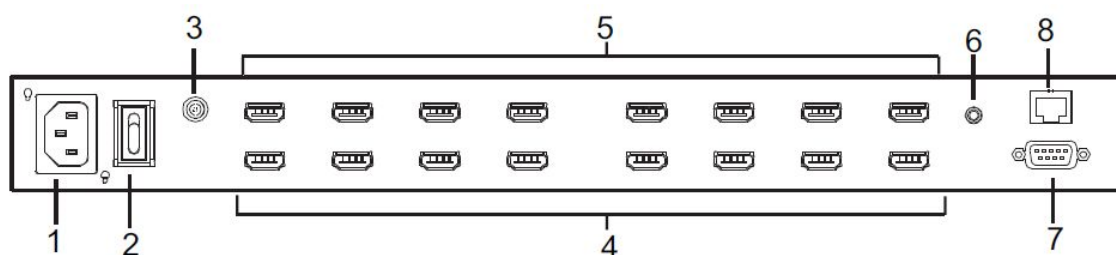
No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	本製品の電源を入れたり、切ったりするための標準的なロッカースイッチです。
3	接地ターミナル	接地線をここに接続します。詳細は、p.26「製品の接地」を参照してください。
4	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスからのケーブルをこのポートに接続します。
5	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイからのケーブルをこのポートに接続します。
6	IR ポート	本製品に同梱の IR レシーバーユニットをこの 3.5mm ミニステレオジャックに接続します。
7	RS-232C シリアルポート	コンピューターまたはシリアルリモートコントローラーをこのシリアルポートに接続します。
8	イーサネットポート	VM5404H のブラウザ GUI にアクセスするには、VM5404H をネットワークに接続しなければなりません。VM5404H を LAN に接続するケーブルをこのポートに接続します。詳細は p.27「ケーブルの接続」を参照してください。

VM5808H フロントパネル



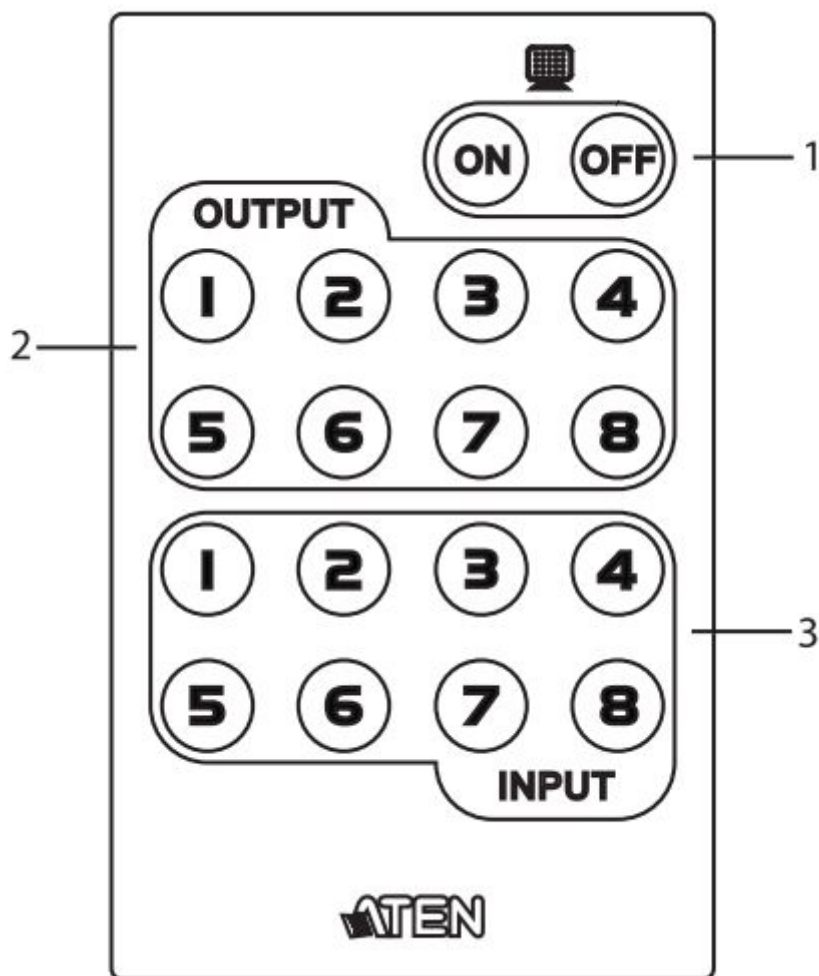
No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	LCD ディスプレイで全てのポートの接続状況が一覧でき、VM5808H の設定や操作に関する様々なオプションが表示されます。詳細は p.32「メイン画面」を参照してください。
2	入力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM5808H のリアパネルにある HDMI 入力ポートに関連します。このボタンを押して入力ポートを選択します。また、メニューオプションやプロファイル (P1～P8) などにも関連しています。 注意:入力 (1～8) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
3	出力プッシュボタン	これらのプッシュボタンは VM5808H のリアパネルにある HDMI 出力ポートに関連します。このボタンを押して出力ポートを選択します。また、プロファイル (P9～P16) などにも関連しています。 注意:出力 (1～8) フロントパネルプッシュボタンには LED が内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。
4	ファンクションプッシュボタン	ファンクションプッシュボタン (MENU、PROFILE、ENTER、CANCEL) は、設定ユーティリティを搭載した LCD を操作するのに使用します。詳細は p.29「フロントパネルプッシュボタン」を参照してください。 注意:MENU と PROFILE フロントパネルプッシュボタンには LED ランプが内蔵されています。点灯している場合はそれが選択されていることを表します。

VM5808H リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	標準の 3 極タイプの AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	本製品の電源を入れたり、切ったりするための標準的なロックスイッチです。
3	接地ターミナル	接地線をここに接続します。詳細は、p.26「製品の接地」を参照してください。
4	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスからのケーブルをこのポートに接続します。
5	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイからのケーブルをこのポートに接続します。
6	IR ポート	本製品に同梱の IR レシーバーユニットをこの 3.5mm ミニステレオジャックに接続します。
7	RS-232C シリアルポート	コンピューターまたはシリアルリモートコントローラーをこのシリアルポートに接続します。
8	イーサネットポート	VM5808H のブラウザ GUI にアクセスするには、VM5808H をネットワークに接続しなければなりません。VM5808H を LAN に接続するケーブルをこのポートに接続します。詳細は p.27「ケーブルの接続」を参照してください。

IR リモコン



No.	名称	説明
1	映 像 出 力 ON/OFF	ON/OFF プッシュボタンを使用して、個別のポートまたは全てのポートに接続された出力ディスプレイへの出力を ON または OFF にすることができます (p.53「リモコン操作」参照)。
2	出力ボタン 1～8	出力ディスプレイボタン 1～8 は、入力ソースを変更したい出力ディスプレイポート番号を表します (p.53「リモコン操作」参照)。
3	入力ボタン 1～8	入力ソースプッシュボタン 1～8 は、出力ディスプレイへの入力ソースを変更します (p.53「リモコン操作」参照)。

注意： VM5404H の場合、IR リモコンは入力ボタンと出力ボタン共に 1～4 のみ使用可能です。

第2章 セットアップ方法

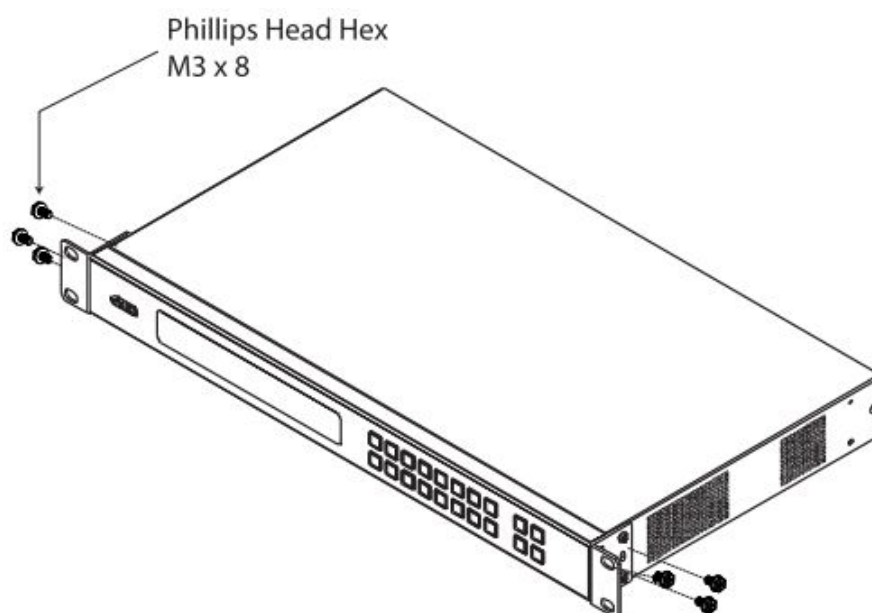


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.7 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ラックへの取り付け

VM5404H/VM5808H は 19 インチ (1U) サイズのシステムラックに取り付けることができます。ローカル側でフロントパネルのプッシュボタンを使用して設定や操作を行いやすくするために、下記の手順で本製品をラックのフロント側に取り付けてください。

1. ラックマウントキットに同梱されている M3 プラスネジ 8mm を使用してラックマウントブラケットを本製品のフロントパネルにネジ止めしてください。



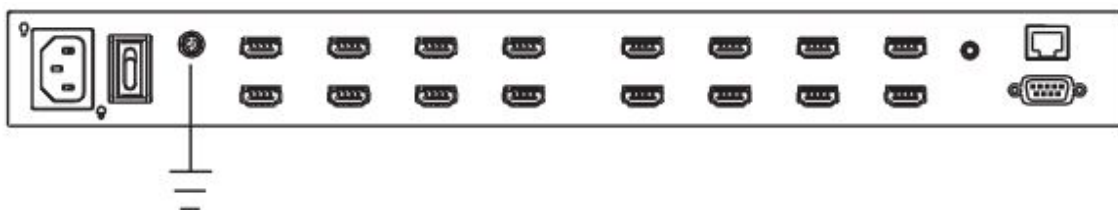
2. ラックのフロント側に本製品を固定し、ラックのネジ穴とラックマウント用ブラケットの穴を合わせてください。
3. ラックマウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。

注意: ラックマウント用のビスとケージナットは本製品に付属していないため、別途、ご用意ください。

製品の接地

機器の破損を防ぐために、ご使用になる機器すべてを適切に接地してください。

1. アースが取られていない場合、接地線を別途ご用意いただき、この接地線の一端を VM5404H/VM5808H の接地ターミナルに接続し、もう一端を適切な接地物に接続してください。



2. VM5404H/VM5808H にセットアップされたデバイス全てが適切に接地されていることを確認してください。

ケーブルの接続

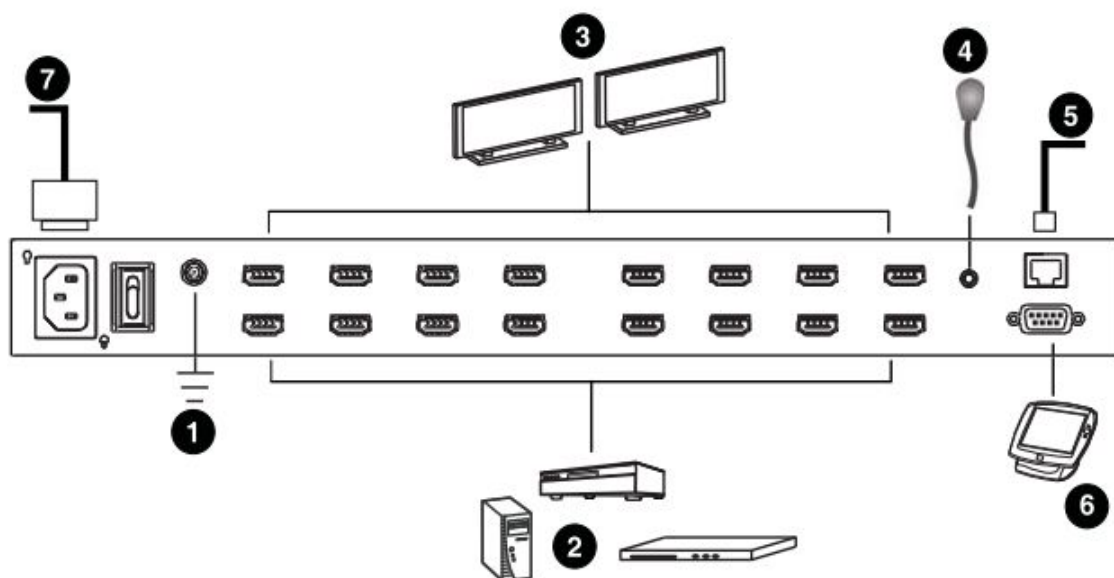
VM5404H/VM5808H のセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。以下の接続図(図にある番号は、下記の手順番号に対応)を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

1. 接地線の一端を VM5404H/VM5808H の接地ターミナルに接続し、もう一端を適切な接地物に接続してください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. VM5404Hは4台まで、VM5808Hは8台までのHDMIビデオソースデバイスを本製品の**HDMI 入力ポート**に接続してください。
3. VM5404Hは4台まで、VM5808Hは8台までのHDMI ディスプレイデバイスを本製品の**HDMI 出力ポート**に接続してください。
4. IR レシーバーを本製品の **IR** ポートに接続してください。
5. (オプション)Web インターフェースの機能にアクセスしたり、ビデオマトリックスコントロールアプリを使用したりする場合は、LAN に接続されている Cat 5e ケーブルを VM5404H/VM5808H の**イーサネット**ポートに接続してください。
6. (オプション)シリアルコントロール機能を使用する場合は、適切なRS-232Cシリアルケーブルを使用して、コンピューターまたはシリアルコントローラーとVM5404H/VM5808H の **RS-232C シリアル**ポート(メス)を接続してください。
7. 同梱の電源コードをVM5404H/VM5808H の 3 極 AC ソケットに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
8. VM5404H/VM5808H および接続機器全てに電源を入れてください。

接続図



第3章

フロントパネル設定

概要

VM5404H/VM5808H はローカル側ではフロントパネルの LCD/プッシュボタンおよび IR リモコンを使用し、リモート側では標準的な TCP/IP 接続を経由する Web ブラウザ GUI や Telnet を使用したリモートターミナルセッション、RS-232C シリアルコントローラーを通じて設定や操作ができます。

本章では、ローカル側でのフロントパネルの操作方法について説明します。Web ブラウザ GUI を使用する操作方法については「第4章 システム操作」で、RS-232C シリアルコントロールについては「第6章 CLI コマンド」で説明します。

フロントパネルプッシュボタン

VM5404H/VM5808H にはローカル側での設定や操作が便利にできるように、LCD ディスプレイおよびプッシュボタンがフロントパネルに搭載されています。これを使用して、ソースデバイスとディスプレイの組み合わせの選択、IP 設定の参照、シリアルポートの設定、EDID モード/CEC/OSD/出力状況の調整、セキュリティ情報の設定、およびプロファイル(表示パターン)の呼び出し/保存というような操作ができます。

下記のフロントパネルプッシュボタンの操作方法に注意してください。

- ◆ メニュー画面のオプションにアクセスするには「**MENU**」ボタンを使用してください。メニュー画面には、「IP Setting」(IP 設定)、「Serial Port Setting」(シリアルポート設定)、「Operation Mode」(操作モード)、「Security Mode」(セキュリティモード)、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)といったオプションがあります(p.37「LCD メニュー構成」参照)。
- ◆ 「Profile List」(プロファイルリスト)に追加されたプロファイル(表示パターン)を切り替えるには、「**PROFILE**」ボタンを使用してください(p.58「プロファイルリスト」参照)。このボタンを 3 秒以上押したままにすると、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面が表示されます(p.49「プロファイルの保存」参照)。

- ◆ 前のレベルの画面やメイン画面に戻ったり、操作を中止したりするには「**CANCEL**」ボタンを使用してください。
- ◆ オプションを選択し、操作方法を確定させるには「**ENTER**」ボタンを使用してください。
- ◆ 入力/出力ポートを選択するには、「**INPUT/OUTPUT (1～8)**または**(1～4)**」ボタンを使用してください。このボタンはメニューオプション、プロファイル(表示パターン)などにも対応しています。
- ◆ VM5404H は「**Prev/Next**」ボタンを使用して、メニュー画面を前後に遷移することができます。
- ◆ VM5808H はボタン番号「**7/8 (Prev/Next)**」を使用して、メニュー画面を前後に遷移することができます。

パスワードの入力

VM5404H/VM5808H を起動する際に、フロントパネルの LCD で読込状況を確認してください。パスワード画面/LCD メニューの読込に失敗すると、エラーメッセージが表示されるので、本製品を OFF にして、もう一度起動させてください。

VM5404H/VM5808H の初回アクセス時には、LCD の読込が完了すると、パスワード画面が表示されます。デフォルトのパスワード「**1234**」を入力して、メイン画面へ続けてください(p.32「メイン画面」参照)。工場出荷設定では ON になっています。



さらに、VM5404H/VM5808H のフロントパネル操作にパスワード入力が必要であると設定されている場合(詳細は p.46「Security Mode (セキュリティモード)」参照)、パスワード画面が表示されます。

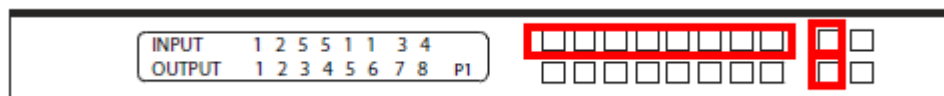
パスワードを入力するには以下の方法に従って操作してください。

1. 「**Enter Password**」(パスワードの入力)欄で、カーソルが最初のアスタリスク「*」の位置にあり、点滅していることを確認してください。
2. フロントパネルの入力ポートプッシュボタン(1～8)または(1～4)を使用して、4桁のパスワードを入力してください。4桁の数字が正しく入力されると、メイン画面が表示されます。
3. パスワードを消去するには、「**CANCEL**」ボタンを押してください。4桁の数字が4つのアスタリスクに戻り、カーソルが最初のアスタリスクに戻ります。

-
- 注意:**
1. VM5404H/VM5808H のパスワードは、VM5808H の場合「1111」から「8888」までの4桁の数字を、VM5404H は「1111」から「4444」までの4桁の数字を任意に組み合わせることができます。デフォルトのパスワードは「1234」です。
 2. 間違ったパスワードを入力してしまった場合、カーソルが最初の数字に戻り、点滅します。画面の下側に「The Incorrect Password」とのメッセージが表示されますが、正しいパスワードを再度入力すると、メッセージは消去されます。
 3. パスワードの入力を有効にしている場合(p.46「Security Mode (セキュリティモード)」参照)、LCD ディスプレイのタイムアウトはデフォルトで5分間となっています。
-

メイン画面

メイン画面では、下の行に出力ポートをVM5808Hは1～8、VM5404Hは1～4の順に表示しています。この出力ポートの真上の行には、その出力ポートに出力されている入力ポートが表示されています。



- ◆ フロントパネルプッシュボタンの「1～8」(VM5808H)または「1～4」(VM5404H)の表示は、リアパネルにある入力ポートと出力ポートに対応しています。
- ◆ LCD メニューを参照するには、「MENU」ボタンを使用してください(p.37「LCD メニュー構成」を参照)。
- ◆ プロファイル(表示パターン)間を切り替えるには、「PROFILE」ボタンを使用してください(p.58「プロファイルリスト」参照)。
- ◆ ビデオウォール機能の設定は、GUIからのみ変更可能です。設定方法については、p.55「第4章システム操作」を参照してください。

ポート切替

メイン画面から、入力ソースデバイスと出力ディスプレイを関連付けて、入力→出力ポート接続を設定することができます。

入力ポートの選択

設定したい入力ポートを選択するには、入力ポートプッシュボタンを使用してください。



1. 任意の入力ポートプッシュボタン (VM5808H は「1～8」、VM5404H は「1～4」) を押してください。先述の入力ポートボタンに關係している出力ポートの LED が点滅し始めます。また、利用可能な出力ポートに対応した LED が点灯します。
下図の例では、入力ポート 1 を押すと、出力ポート 1 と 2 に關連付けされていることを表します。



2. 出力ポートを入力ポートから切断するには、その出力ポートに対応するプッシュボタンを押してください。
下図の例では、出力ポート 2 が入力ポート 1 から切断されています。



3. 他の入力ポートに切り替えるには、切り替えたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。この入力ポートに關連付けされている出力ポートの LED が点滅します。
下図の例では、入力ポート 2 を押すと、このポートには出力ポート 3 と 4 が關連付けされていることを表します。



4. 上図の例で出力ポート 2 を入力ポート 2 に接続するには、出力ポート 2 のプッシュボタンを押

してください。出力ポート 2 の LED が点滅します (0.5 秒 ON、0.2 秒 OFF)。これは、入力ポート 2 には、出力ポート 2、3、4 が接続されていることを表しています。



選択した入力ポートからの信号が出力ポートにつながると、LED は消え、LCD 情報が更新されます。

-
- 注意:**
1. 入力ポートを再び押すと、非選択状態となります。
 2. 入力ポートが設定されていない、または出力ポートと関連付けされていない場合は、LCD 画面に表示されません。
 3. 「CANCEL」ボタンを 1 回押すと、入力ポートの選択操作を中止し、LCD には、設定が有効であることを表示します。再度、「CANCEL」ボタンを押すと、全ての LED が OFF になります。
 4. 10 秒以上操作が行われないと、全ての LED が OFF になります。
-

出力ポートの選択

設定したい出力ポートを選択するには、出力ポートプッシュボタンを使用してください。



どの出力ポートを入力ソースデバイスに関連付けるかを選択するには、下記の操作を行ってください。

1. 出力ポートプッシュボタン (VM5808H は 1～8、VM5404H は 1～4) を押してください。
下図の例では、出力ポート 1 のプッシュボタンが押されています。利用可能な入力ポートは点灯状態になります。ここでは、どの入力 LED も点滅していませんので、出力ポート 1 には、まだどのポートも関連付けられていないことを表しています。



2. 出力ポートが 2 回押されると、非選択状態となり、LED は OFF になります。
3. 選択した出力ポートを入力ポートに接続するには、出力ポートに関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。新たに選択された入力ポートの LED が点滅し (0.5 秒 ON、0.2 秒 OFF)、LCD 情報が更新されます。
下図の例では、入力ポート 2 のボタンを押して、出力ポート 2、3、4 が関連付けられていることを表します。



4. 出力ポート 2、3、4 を他の入力ポートに切り替える（および入力ポート 2 から切断する）には、関連付けたい入力ポートのプッシュボタンを押してください。

下図の例では、入力ポート 3 のボタンが押され、現在、このポートが出力ポート 2、3、4 に接続していることを表します。



-
- 注意：**
1. 出力ポートを再び押すと、非選択状態となります。
 2. 「CANCEL」ボタンを 1 回押すと、出力ポートの選択操作を中止し、LCD には、設定が有効であることを表示します。再度、「CANCEL」ボタンを押すと、全ての LED が OFF になります。
 3. 10 秒以上操作が行われないと、全ての LED が OFF になります。
-

LCD メニュー構成

VM5404H/VM5808H にはフロントパネル LCD を使用した設定ユーティリティが搭載され、「MENU」ボタンとフロントパネルの入力プッシュボタン 1～8(VM5808H)または 1～4(VM5404H)を押すことで、操作を行います。下表に示した「IP Setting」(IP の設定)画面から始まるメニューオプションを循環させることができます。

メニューページ	サブメニューページ			
IP Setting (IP の設定)	IP Address(IP アドレス) : 192.168.0.60			
	Subnet Mask(サブネットマスク) : 255.255.255.0			
	Gateway(ゲートウェイ): 192.168.0.1			
Serial Port Setting (シリアルポートの設定)	Baud Rate (ボーレート)	9600 / 19200 / 38400 / 115200		
Operation Mode (操作モード)	EDID	Default / Port1 / Remix / Customized (プリセット/ポート 1/リミックス/カスタマイズ)		
	CEC	ON / NA		
	OSD	ON / NA		
	Output Status (出力状況)	Video (ビデオ)	ON / NA	
		Output Resolution (出力解像度)	01～04 (VM5404H) 01～08 (VM5808H)	
Security Mode (セキュリティモード)	Mode(モード)	None(なし)		
		Password Enable (パスワード有効)		
		Lock Screen (画面ロック)		
	Change Password (パスワード変更)	Old Password (旧パスワード)	New Password (新パスワード)	
Save to a Profile (プロファイルの保存)	Save to a Profile No. (プロファイル No. に保存)	01～08 (VM5404H) 、 01～16(VM5808H)		
Play/Stop the Profile Schedule (プロファイルスケジュールの再生/中止)				
Turn Video Wall Off (ビデオウォールの停止)				

注意: 太字の値は、VM5404H/VM5808H のデフォルトプロファイルです。

メニュープッシュボタン

メイン画面と LCD メニュー画面を切り替えるには、「MENU」プッシュボタンを押してください。メニュー画面が動作していると、「MENU」プッシュボタンに内蔵された LED が点灯します。



メニュー画面では、下記の操作を行うことができます。

- ◆ IP 設定画面に遷移するには、「1」を押してください(下記の「IP 設定」参照)。
- ◆ シリアルポート設定画面に遷移するには、「2」を押してください(p.40「シリアルポートの設定」参照)。
- ◆ 次のサブメニュー画面に遷移するには、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押してください。
- ◆ メイン画面に戻るには、「MENU」または「CANCEL」を押してください。

IP 設定

「IP Setting」(IP 設定)画面には、VM5404H/VM5808H の IP 設定内容が表示されます。LCD メニューに表示される値は読取専用で、設定を変更するにはブラウザ GUI を使用します(p.86「ネットワーク」参照)。

IP アドレス/サブネットマスク

VM5404H/VM5808H の IP アドレスとサブネットマスクを参照するには、下記の操作を行ってください。

1. メイン画面から、「1」を押して「IP Setting」(IP 設定)のサブメニューを表示してください。すると、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。



注意： VM5404H/VM5808H のデフォルト IP アドレスは「192.168.0.60」、デフォルトサブネットマスクは「255.255.255.0」です。

2. VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次のページに遷移してください。
3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 前の画面に戻るには、「CANCEL」を押してください。

ゲートウェイ

VM5404H/VM5808H のゲートウェイアドレスを参照するには、下記の操作を行ってください。

1. メイン画面から「1」を押して、「IP Setting」(IP 設定)サブメニューを表示し、次に VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してください。ゲートウェイアドレスが表示されます。



注意: VM5404H/VM5808H のデフォルトゲートウェイアドレスは「192.168.0.1」です。

2. 前の画面に戻るには、VM5808H は「7」を、VM5404H は「Prev」を押してください。
3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに前の画面に戻るには、「CANCEL」を押してください。

シリアルポートの設定

シリアルポート接続を行うための VM5404H/VM5808H のボーレートを設定するには、メイン画面から「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)を選択してください。



ボーレート

VM5404H/VM5808H のボーレートを設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「1」を押して、「Serial Port Setting」(シリアルポートの設定)サブメニューから「Baud Rate Setting」(ボーレートの設定)を選択してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、ボーレートを選択してください。



ボーレートのオプションは下記の通りです。

- ◆ 「1」:9600
- ◆ 「2」:19200
- ◆ 「3」:38400
- ◆ 「4」:115200

注意: デフォルトのボーレートは 19200 です。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

操作モード

「Operation Mode」(操作モード)メニューからは、EDID モード、CEC、OSD および出力状態を設定することができます。

- ◆ EDID 機能では、VM5404H/VM5808H が自動的にプリセットのビデオ設定または EDID モードを適用する際に使用され、異なるモニター間で最適な解像度を得ることができます。
- ◆ CEC 機能では、1 つのリモコンから相互接続された HDMI デバイス間の通信や応答を行うことができます。
- ◆ OSD がポートに対して有効になっている場合、接続されたディスプレイ/モニターにリアルタイムでのポート切替情報を表示します。
- ◆ 出力ステータスでは、出力ポートのビデオ/オーディオが ON または OFF であるかを表示し、出力解像度の確認や設定を行うことができます。

メイン画面から VM5404H/VM5808H の操作モードを設定するには、「MENU」ボタンを使用して、メニュー画面にアクセスし、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に移してから、「1」を押して「Operation Mode」(操作モード)画面にアクセスしてください。



EDID モード

「EDID モード」を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「1」を押してください。



2. 「1」～「4」のプッシュボタンを押して、EDID モードのオプションを選択してください。



EDID モードのオプションは下記のとおりです。

EDID オプション	説明
「1」:Port 1	HDMI 出力ポート番号 1 に接続されたディスプレイの EDID を全ての入力ポートに適用します。
「2」:Default	本体内蔵の EDID を全ての入力ポートに適用します。
「3」:Remix	VM5404H/VM5808H の電源立ち上げ時、または「Remix」オプションを選択してからすぐに「3」ボタンを押した際に接続されている各ディスプレイの EDID を使用します。
「4」:Customized	接続モニター/ディスプレイの EDID 設定を入力ソースポートに自動的に読み出し、保存します。保持後は、ブラウザ GUI を使用して設定を変更できます。p.91「EDID 設定のカスタマイズ」を参照してください。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

CEC

CEC を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、「2」を押してください。



2. VM5808H は「1」～「8」ボタンを、VM5404H は「1」～「4」ボタンを押して、出力ポートに対して CEC 機能を有効 (ON) または無効 (NA) にしてください。ポートが CEC 機能に対応していない場合、NA が表示されます。



注意: デフォルトの CEC 設定は無効 (NA) です。

3. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
4. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

OSD

オンスクリーンディスプレイ(OSD)機能は、VM5404H/VM5808Hのフロントパネル、IRリモコン、またはブラウザ GUI から行った出力ポートに対する設定変更内容を、ディスプレイの画面にリアルタイムでテキストを更新して表示することができます。

各出力ポートに対して OSD 設定を行うには、下記の操作を行ってください。

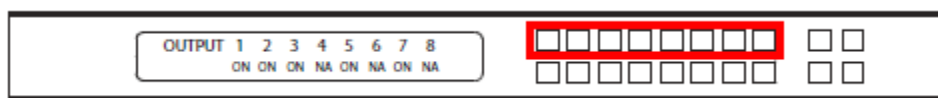
1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してから、「1」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で、「1」を押してください。



3. VM5808H は「1」～「8」ボタンを、VM5404H は「1」～「4」ボタンを押して、出力ポートに対して OSD 機能を有効(ON)または無効(NA)にしてください。



注意: デフォルトの OSD 設定は有効(ON)です。

4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

出力状態

各出力ポートに対して、出力状態を設定するには、下記の操作を行ってください。

1. 「Operation Mode」(操作モード)画面から、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してから、「2」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で、「1」を押してビデオを選択してください。



3. VM5808H は「1」～「8」ボタンを、VM5404H は「1」～「4」ボタンを押して、出力ポートに対するビデオ/オーディオを有効(ON)または無効(NA)にしてください。



注意： デフォルトの出力状態設定は有効(ON)です。

4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

各出力に対して出力解像度を設定する場合は、下記の操作を行ってください。

1. 「Output Status」(出力状況)画面で、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移したら、「2」を押してください。



2. 「Output Status」(出力状況)画面で「2」を押して、出力解像度を選択してください。



3. VM5404H は「1」～「4」ボタンを、VM5808H は「1」～「8」ボタンをそれぞれ押して、解像度を変更したい出力ポートを選択してください。



4. 利用可能なオプションは下記のとおりです。

Native Resolution (実効解像度)

1024×768@60Hz

1280×720@60Hz

1280×1024@60Hz

1400×1050@60Hz

1600×1200@60Hz

1920×1080@60Hz

1920×1200@60Hz

1280×720@50Hz

1920×1080@50Hz

1280×800@60Hz

720×576@50Hz

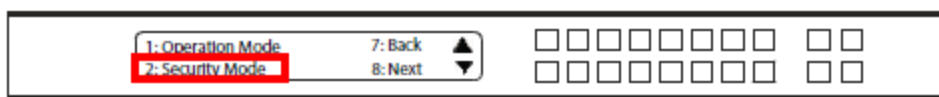
1600×900@60Hz

5. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
6. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

セキュリティモード

「Security Mode」(セキュリティモード)画面では、VM5404H/VM5808H のセキュリティに関する設定ができます。セキュリティモードは、「None」(なし)、「Password Enable」(パスワード有効)、「Lock Screen」(画面ロック)の3種類が利用可能です。また、VM5404H/VM5808H のパスワードを変更することもできます。

メイン画面から VM5404H/VM5808H のセキュリティ関連の設定を行うには、「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスし、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してから、「2」を押して、「Security Mode」(セキュリティモード)画面にアクセスしてください。



モード

1. VM5404H/VM5808H のセキュリティモードを変更するには、「1」ボタンを押してください。



2. 「Mode」(モード)メニューでセキュリティ設定を無効にするには、「1」ボタンを押してください。この場合、メニューはセキュリティモードに戻ります。LED 表示のタイムアウト時や、電源 OFF 後の再投入時にパスワードの入力を要求するには、「2」ボタンを押してください。この場合、メニューはホーム画面に戻ります。



注意: パスワード入力が有効になっている場合、5 分間無操作でタイムアウトになります。
なお、VM5404H/VM5808H のパスワードはデフォルトで 1234 に設定されています。

3. ロック画面を有効にするには、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してから、「1」を押してください。そうすると、メニューはホーム画面に戻ります。ロック画面が有効になっている場合にホーム画面で任意のボタンを押すと、「Please press "Menu" to start」(開始するにはメニューを押してください)というメッセージが表示されます。



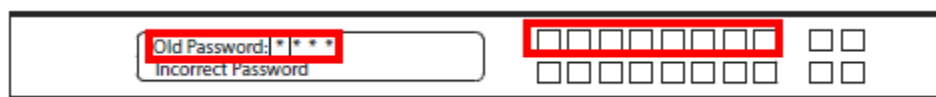
4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

パスワードの変更

1. 本製品にアクセスするためのパスワードを変更するには、「2」ボタンを押してください。



2. 「Old Password」(旧パスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。元のパスワードを入力してください(p.31「パスワードの入力」参照)。元のパスワードが正しく入力されると、次の手順に移ります。



注意： 間違ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示され、カーソルが最初の文字に戻って点滅します。新しいパスワードを入力すると、このメッセージは消えます。

3. 「New Password」(新しいパスワード)欄の最初の文字にあるカーソルが点滅します。フロントパネルの数字ボタンを使用して、新しいパスワード(VM5808H は 1111～8888、VM5404H は 1111～4444)を入力してください。



4. 次の「Re-enter New Password」(新しいパスワードの再入力)欄に新しいパスワードを再入力してください。すると、VM5404H/VM5808H に新しいパスワードがすぐに適用されます。



ここで入力したパスワードが前の画面で入力したものと一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。新しいパスワードを正しく入力してください。

5. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
6. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

プロファイルの保存

VM5404H は最大 8 通り(P1～P8)、VM5808H は最大 16 通り(P1～P16)のプロファイル(表示パターン)を保存でき、後で呼び出すことができます。

プロファイル(表示パターン)は、保存時のメイン画面上に現在設定されている入力→出力ポートの接続方法に基づいて保存されます。プロファイルを呼び出す際、変更はすぐに適用され、プロファイル番号が LCD 画面のディスプレイの右下に表示されます。

ポート接続のプロファイルを保存するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「MENU」ボタンを押してメニュー画面にアクセスしてから、VM5808H は「8」を、VM5404H は「Next」ボタンを押して次の画面に遷移してください。「1」ボタンを押して、「Save to a Profile」(プロファイルの保存)を選択してください。



2. プロファイル番号を設定するように促す画面が開きます。フロントパネルにある番号プッシュボタンを使用して、プロファイルとして保存する番号を選択してください。



VM5404H の場合、(LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P8」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P4」に対応しています。
- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P5」～「P8」に対応しています。

VM5808H の場合、(LCD を使用してプロファイルを保存する際の)オプションは「P1」～「P16」です。

- ◆ 入力ポートプッシュボタン「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P8」に対応しています。

- ◆ 出力ポートプッシュボタン「1」～「8」はそれぞれ、プロファイル番号「P9」～「P16」に対応しています。

3. 「ENTER」ボタンを押して、プロファイル(表示パターン)を保存してください。LCD にはプロファイルが保存された旨を表すメッセージが表示されます。
4. メイン画面に戻るには、「MENU」を押してください。
5. 保存せずに、前の手順に戻るには、「CANCEL」を押してください。

注意: 「Save to a Profile」(プロファイルの保存)画面は「PROFILE」ボタンを3秒間以上、長押しすることで、簡単にアクセスすることができます。

プロファイルスケジュールの再生/停止

入力ポートプッシュボタン「2」を押すと、プロファイルスケジュールを再生または中止します。



ビデオウォールの停止

ビデオウォールを再生していると、サブメニューが表示されます。



- ◆ 「Turn video wall off」(ビデオウォールの停止)を選択すると、ポートの割り当てをデフォルトの状態に戻します(ビデオウォールを解除します)。

プロファイルプッシュボタン

「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを使用すると、プロファイルリストに保存された、または追加された設定へ簡単に切り替えることができます(p.58「プロファイルリスト」参照)。

プロファイルの使用中には、LCD ディスプレイの右下に VM5808H はプロファイル番号「P1」～「P16」、VM5404H は「P1」～「P8」が表示されます。



「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンの機能は下記の通りです。

- ◆ 「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを押すと、利用可能なプロファイル番号が点灯し、アクティブなプロファイル番号が点滅します。入力/出力プッシュボタンを押すと、特定のプロファイル(VM5808H は 1～16、VM5404H は 1～8)に切り替えます。操作の前に、下記をご一読ください。

- 入力ポートプッシュボタン「1」～「8」または「1」～「4」はそれぞれ、プロファイル番号「P1」～「P8」または「P1」～「P4」に対応しています。
- 出力ポートプッシュボタン「1」～「8」または「1」～「4」は、(出力ポート番号「1」はプロファイル番号 9 または 5、出力ポート番号「2」はプロファイル番号 10 または 6・・・というように)プロファイル番号「P9」～「P16」または「P5」～「P8」に対応しています。

選択したプッシュボタンの LED が点滅し、VM5404H/VM5808H は選択済みのプロファイルで設定されているポート接続をすぐに適用します。LED が点灯状態に戻ると、プロファイルが有効であることを表します。

- ◆ 「PROFILE」(プロファイル)プッシュボタンを押した後、再び押すと、プロファイルではなく、プロファイルスケジュール(p.65 参照)における次のプロファイルへと変更します。この機能は、スケジュールの再生中にのみ、ご利用いただけます。
- ◆ 終了するには、「CANCEL」ボタンを押してください。

注意: VM5404H/VM5808H にプロファイルが設定されていない場合、「PROFILE」(プロファイル)ボタンを押すと、「No Available Profile」(利用可能なプロファイルはありません。)というエラーメッセージが表示されます。

ポート接続のプロファイル内容は、フロントパネルのプッシュボタン(p.33「ポート切替」参照)、またはブラウザ GUI の「Connections」(接続)画面(p.68「プロファイルにおけるビデオ設定の定義」参照)を使用して編集できます。さらに、プロファイルリストはブラウザ GUI のプロファイル画面を使用して設定できます(p.58「プロファイルリスト」参照)。

IR リモコン操作

VM5404H/VM5808H に同梱の IR リモコン (p.23「IR リモコン」参照) を使用して、下記の操作を行うことができます。

- ◆ 任意の出力ディスプレイに対する入力ソースの切替
- ◆ 出力ディスプレイの信号出力を個別に ON/OFF
- ◆ 出力ディスプレイ全ての信号出力を同時に ON/OFF

リモコン機能を使用する前に、まず IR 外付レシーバーを VM5404H/VM5808H のリアパネルにあるポート (p.20「IR ポート」参照) に接続して、IR 信号が届く場所にレシーバーを設置してください。

出力ディスプレイに対する入力ソースの変更

リモコンを使用して出力ディスプレイに対する入力ソースを変更するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 変更したい出力ポート番号 (「1」～「8」または「1」～「4」) を押してください。
2. 2 秒以内*に出力ポートに表示する入力ポート番号 (「1」～「8」または「1」～「4」) を押してください。
3. 他にポートを変更するには、1～2 の手順を繰り返してください。

* 入力ポート番号を変更するには、出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に入力ポート番号を押してください。

出力ディスプレイの個別出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイへの映像出力を個別に ON/OFF するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. ON または OFF にしたい出力ポート番号 (「1」～「8」または「1」～「4」) を押してください。
2. 2 秒以内*に「ON」または「OFF」ボタンを押してください。
3. ON または OFF に戻すには、手順 1～2 を繰り返してください。

* 出力ポート番号が押されてから 2 秒以内に「ON」または「OFF」ボタンを押さなければ、その出力ポートにあるディスプレイではなく、全てのディスプレイの出力が ON または OFF になります。

出力ディスプレイ一括出力 ON/OFF

リモコンを使用して出力ディスプレイ全ての出力を同時に ON または OFF するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「ON」または「OFF」ボタンを押してください。*
2. 出力ポート全ての状態を ON または OFF に同時に戻すには、手順 1 を繰り返してください。

* 「ON」または「OFF」ボタンを使用すると、現在の出力ポート個々の状態にかかわらず、全ての出力ポートを同じ状態にします。

第4章

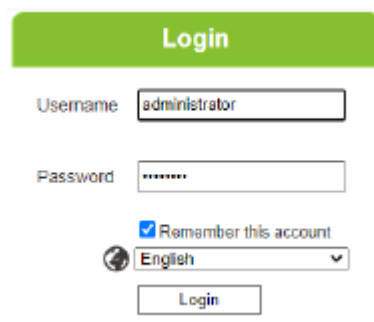
システム操作

概要

VM5404H/VM5808H スケーラー機能対応 4×4 / 8×8HDMI マトリックススイッチャーはブラウザベースの GUI を使用し、標準的な TCP/IP 接続を通じての設定や操作ができます。VM5404H/VM5808H は LAN や WAN(例:イントラネット)接続ができるところなら、どこからでもアクセスすることができるので、リモートオペレーターはそこから任意の Web ブラウザを使用してログインすることができます。安全性はパスワード保護とユーザー設定可能なタイムアウトによって確保されています。VM5404H/VM5808H は様々な操作上の権限をもったリモートユーザーを 3 段階にわけることができます、また最大 16 名のユーザーが一度に GUI にログインできます。詳細は次項を参照してください。

ログイン

ブラウザベースの GUI にアクセスするには、任意のブラウザのアドレスバーに VM5404H/VM5808H の IP アドレスを入力してください。「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがありますが、本製品の証明書は安全なものですので、これを許可してください。初期画面が表示されます。



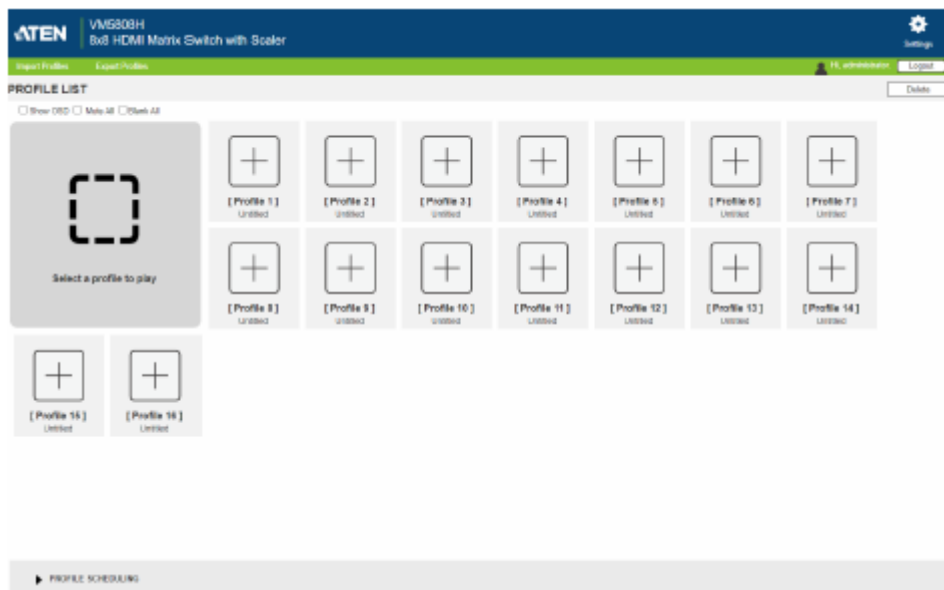
- ◆ VM5404H/VM5808H のデフォルト IP アドレスは **http://192.168.0.60** です。
- ◆ デフォルトユーザー名は「**administrator**」、パスワードは「**password**」です。
- ◆ ユーザー名とパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をクリックしてログインしてください。
- ◆ 同一のユーザーが同時にログインすることはできません。
- ◆ ドロップダウンメニューを使用して、GUI で使用する言語を選択してください。

- 選択可能な言語: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語

注意: VM5404H/VM5808H のユーザー名は小文字のみ対応しています。

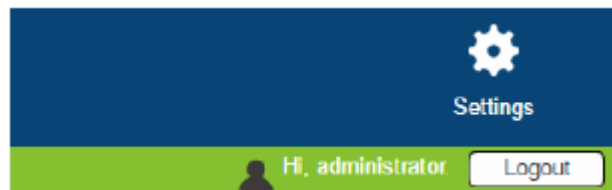
メイン画面

VM5404H/VM5808H の GUI メイン画面は「**Profile List**」(プロフィールリスト)が開いた状態になっています。この画面でプロフィール(表示パターン)を作成して、入力・出力の接続を設定できます。この画面は、メニューバー、「Profile List」(プロフィールリスト)および「Profile Scheduling」(プロフィールスケジュール)の 3 つのパートに分けられます。



メニューバー

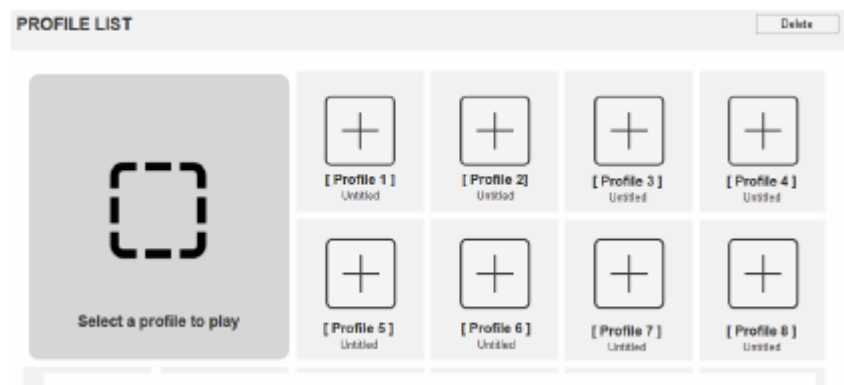
メニューバーには、「Settings」(設定)アイコンと「Logout」(ログアウト)ボタンがあります。



- ◆ システム設定 (p.79 参照)を行うには、「**Settings**」(設定)アイコンをクリックしてください。
- ◆ GUI からログアウトするには、「**Logout**」(ログアウト)をクリックしてください。

プロフィールリスト

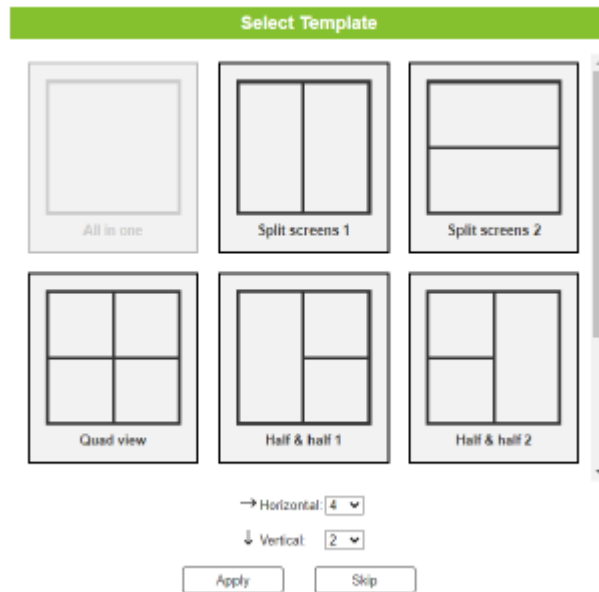
「Profile List」(プロフィールリスト)では、入力・出力ポートの接続方法を設定して、そのプロフィール(表示パターン)を作成し、使用することができます。プロフィールは、ローカル側では本製品のフロントパネルにあるプッシュボタンを使用して、リモートでは Web GUI を使用して保存し、呼び出すことができます。VM5404H は 8 通り、VM5808H は 16 通りまでプロフィールを保存できます。



プロフィールの追加/再生

プロフィール(表示パターン)の設定方法は下記の通りです

1. プロファイルリストから「**Profile**」(プロフィール)をクリックしてください。
2. テンプレートを選択し、縦横のディスプレイ数を設定したら、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。

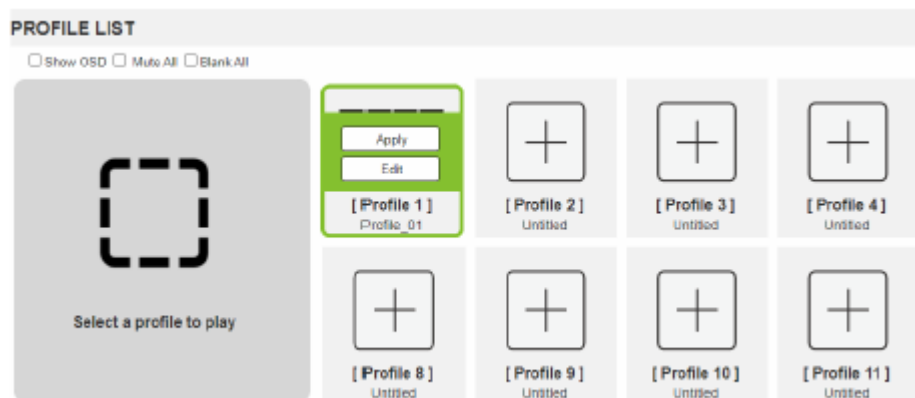


3. プロファイルの入出力の接続を設定してください。詳細は p.68「プロファイルにおけるビデオ設定の定義」を参照してください。

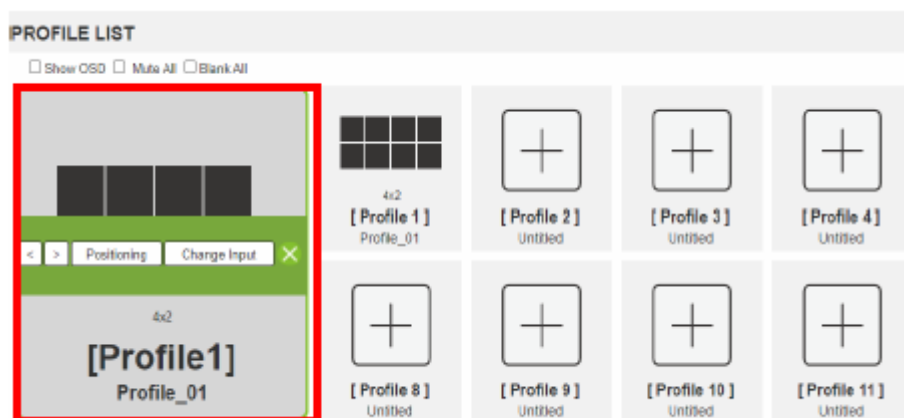
4. 下図のように新規プロファイルがプロファイルリストに表示されます。



5. プロファイルを選択し、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。



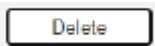
6. プロファイルが大きな再生ウィンドウに表示され、接続が開始します。

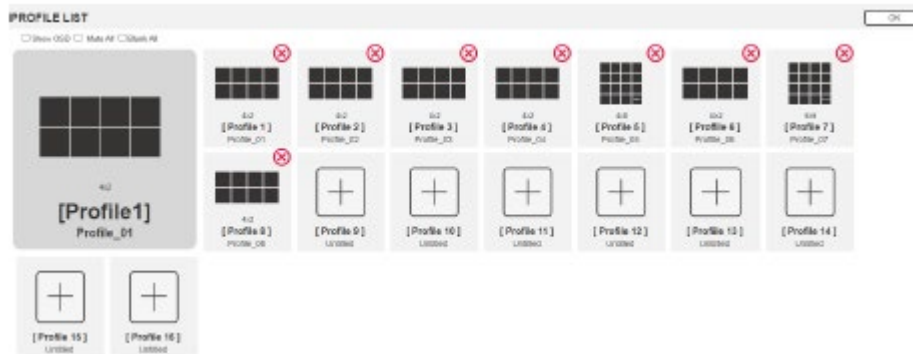


注意: プロファイルリスト画面のオプションに関する詳細は、次ページに掲載しています。

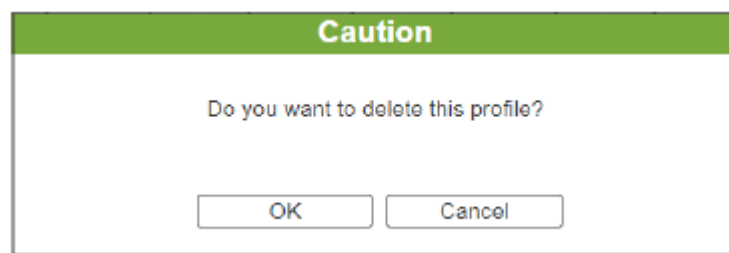
プロファイルの削除

接続プロファイルを削除するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. プロファイルリストで、 をクリックしてください。
2. プロファイルリストで、削除対象となるプロファイルの右上にある  をクリックしてください。



3. 警告メッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



プロファイルのインポート/エクスポート

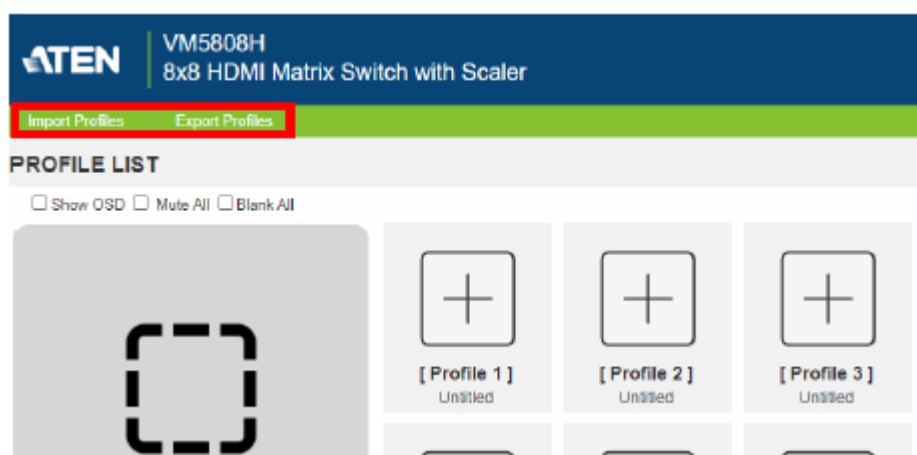
VM5404H/VM5808H の接続プロファイルをエクスポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. 「**Export Profiles**」(プロファイルのエクスポート)をクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

接続プロファイルを VM5404H/VM5808H にインポートするには、下記の手順に従って操作してください。

1. 「**Import Profiles**」(プロファイルのインポート)をクリックしてください。
2. 設定ファイルを参照し、インポートするファイルを選択したら「**Open**」(開く)をクリックしてください。

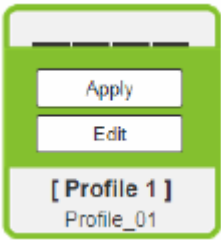
注意： 接続プロファイルのデータベースをインポートすると、現在のプロファイルを上書きします。



プロフィールリストのオプション

「Profile」(プロフィール)または「Play」(再生)ウィンドウをクリックすると、オプション項目が表示されたポップアップメニュー画面が開きます。

プロフィール(表示パターン)



オプション	説明
Apply (適用)	プロフィールを再生ウィンドウに配置するには、「 Apply 」(適用)をクリックしてください。これでプロフィール(表示パターン)を開始することができます。
Edit (修正)	プロフィールの入力/出力接続を設定するには、「 Edit 」(修正)をクリックしてください。

再生画面



オプション	説明
On Sequence (連続再生)	「 On Sequence 」(連続再生)の項目は、スケジューリングされたプロフィールの再生中に表示されます (p.65 参照)。
<	プロフィールスケジューリング機能を使用した際に、「<」をクリックすると、その前のプロフィールに戻ります。これは「On Sequence」機能を有効にした際にのみ、使用可能です。

(表は次のページに続きます)

オプション	説明
>	プロファイルスケジュール機能を使用した際に、「>」をクリックすると、その次のプロファイルに戻ります。これは「On Sequence」機能を有効にした際のみ、使用可能です。
Positioning (位置調整)	「 Positioning 」(位置調整)をクリックすると、各ディスプレイの画像位置を調整するためのウィンドウが開きます。プロファイルがビデオウォールの場合、各ディスプレイ間のラインサイズとなるディスプレイのベゼルサイズを入力することもできます。
	 をクリックすると、再生ウィンドウからプロファイルを削除します。
Change Input (入力変更)	「 Change Input 」(入力変更)をクリックすると、プロファイルの入出力接続の定義を変更することができます。

その他

オプション	説明
Show OSD (OSDを表示する)	設定やポートを変更した際に、テキストによる更新情報を表示するには、「 Show OSD 」(OSD を表示する)にチェックを入れてください。
Mute All (全てミュート)	全てのポートのオーディオ出力をミュートにするには、「 Mute All 」(全てミュート)にチェックを入れてください。
Blank All (全て空欄)	全てのディスプレイへのビデオ出力を OFF にするには、「 Blank All 」(全て空欄)にチェックを入れてください。

プロファイルスケジュール

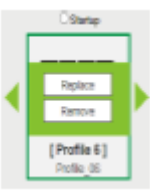
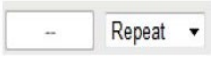
「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)は、プロファイルリストの下側にあります。ここでは、ある一定の時間間隔でプロファイル(表示パターン)を再生する順番を設定することができます。



オプション	説明
Edit	クリックすると、プロファイルスケジュールを編集します。
Play	クリックすると、プロファイルスケジュールを再生します。
Stop	クリックすると、プロファイルスケジュールを停止します。このオプションは Play をクリックした後で、使用可能になります。
< >	プロファイルの再生中にクリックすると、前後のプロファイルに切り替えます。

「Edit」(編集)を選択すると、下記のオプションが表示されます。



オプション	説明
	クリックすると、再生スケジュールにプロファイルを追加します。再生は左から右の順で行われます。そうしたら、各プロファイルについて、再生時間を設定してください。
	プロファイルをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。 ◆ スケジュールの開始点とするプロファイルには「Startup」(起動)を選択してください。 ◆ プロファイルを他のものに置き換える場合は、「Replace」(置換)をクリックしてください。 ◆ スケジュールからプロファイルを削除するには、「Remove」をクリックしてください。 ◆ スケジュール内の再生順序を変更する場合は「<」「>」を使用してください。
	プロファイル(表示パターン)の再生期間(時間、分、秒)をドロップダウンメニューから選択し、再生時間を入力してください。再生時間を過ぎると、次のプロファイルに切り替わります。 再生スケジュールを中止し、そのプロファイルの再生のみを行うには、「Repeat」(繰返し)を選択してください。「Repeat」(繰返し)を使用しない場合は、最初のプロファイルに戻ります。「Repeat」(繰返し)を使用した場合は、特定の時・分・秒を設定することができず、そのあとのプロファイルも再生されません。

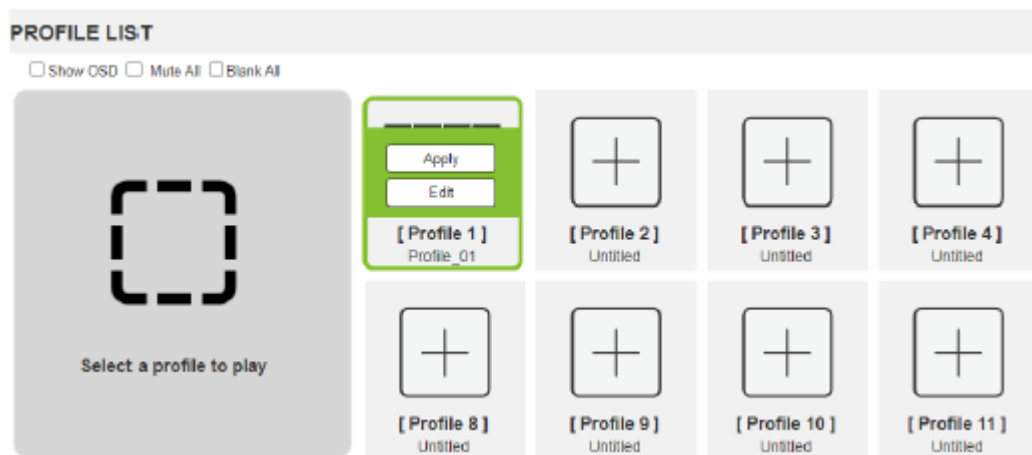
(表は次のページに続きます)

オプション	説明
Save (保存)	「Save」(保存)をクリックすると、表示されているスケジュールを保存します。 保存すると、「Profile Scheduling」(プロファイルスケジュール)画面が終了します。 プロファイルスケジュールの再生中は、「On Sequence」(連続再生)が再生画面に表示されます。
Cancel (キャンセル)	スケジュールの修正を中止し、プロファイルスケジュール画面に戻るには、「Cancel」(キャンセル)をクリックしてください。

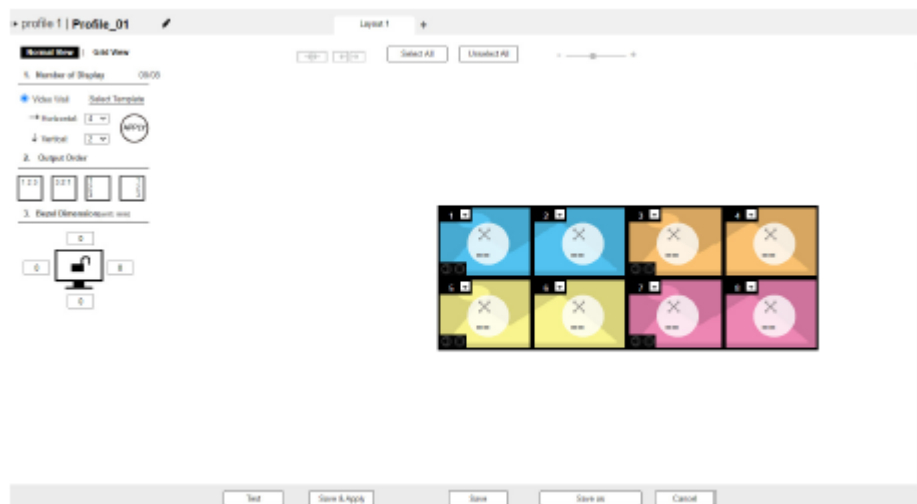
プロファイルにおけるビデオ設定の定義

プロファイルにおけるビデオ設定を定義するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. プロファイルリストで、設定対象となるタブに移動してください。そうしたら、プロファイルをクリックして、「Edit」(編集)をクリックしてください。

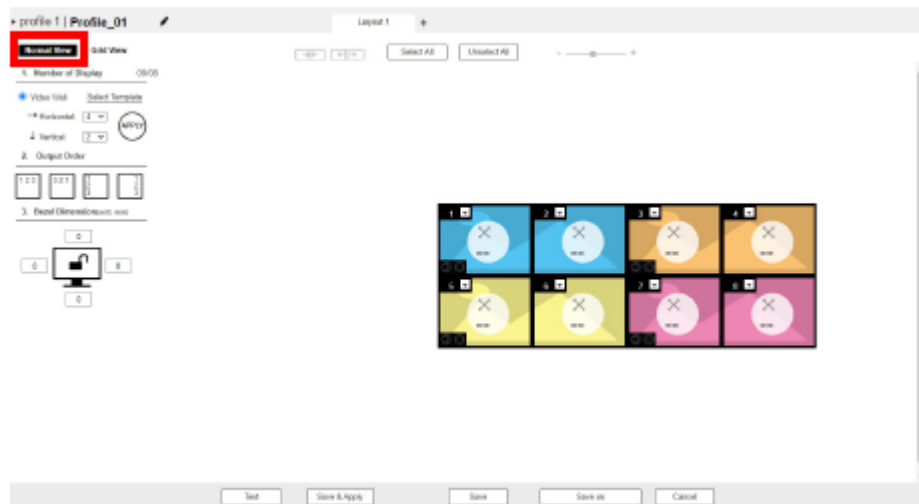


2. そうすると、下図のような画面が表示されます。



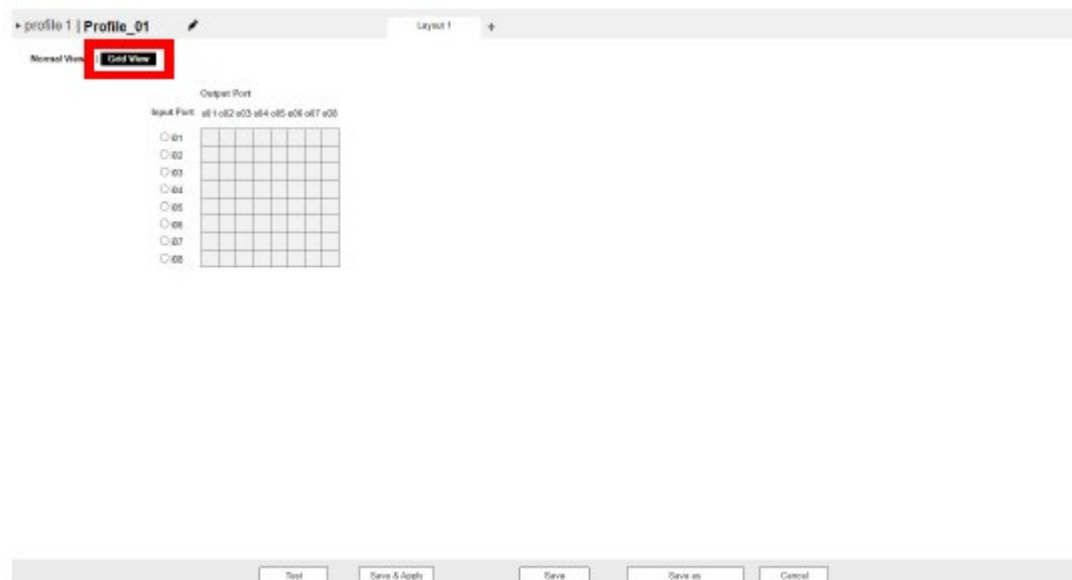
3. プロファイルを編集するにあたり、**通常表示**と**グリッド表示**のどちらを使うかを選択してください。

通常表示



- ◆ 通常表示では、ビデオ/オーディオの割当に加えて、モニターの台数やプロファイルのベゼルサイズを設定することもできます。
- ◆ 詳細は p.70「通常表示におけるビデオ設定の定義」を参照してください。

グリッド表示



- ◆ グリッド表示において、オーディオ/ビデオ出力は、縦軸のオーディオ/ビデオ入力と横軸のオーディオ/ビデオ出力が交差した部分に割り当てられます。
- ◆ 詳細は p.78「グリッド表示におけるビデオ設定の定義」を参照してください。

4. (オプション)保存前に設定内容を確認する場合は、「Test」(テスト)をクリックしてください。
5. 設定内容を保存するには、「Save & Apply」(保存&適用)、「Save」(保存)、「Save As」(別名で保存)のいずれかをクリックしてください。

通常表示におけるビデオ設定の定義

プロファイルのレイアウト設定

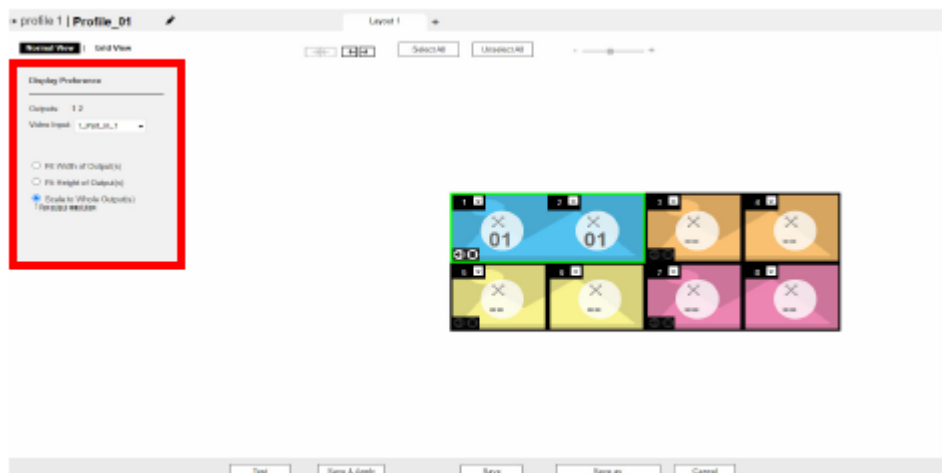
The screenshot displays the 'Normal View' tab of a configuration interface. At the top, it shows '1. Number of Display' as '08/08'. Below this, the 'Video Wall' option is selected, with a 'Select Template' link. The 'Horizontal' setting is set to 4 and 'Vertical' to 2, with an 'APPLY' button. Section '2. Output Order' shows four 3x3 grids with numbers 1, 2, 3 in different arrangements. Section '3. Bezel Dimension(unit: mm)' shows a central monitor icon with four '0' input fields for bezel dimensions.

項目	説明
Number of Displays (ディスプレイ数)	次のコントロールを使用して、レイアウトの種類とディスプレイ数を設定します。 ◆ Video Wall(ビデオウォール):このオプションを選択すると、複数台のモニターをまとめて1台の大きなモニターに見立ててビデオ出力を行ったり、個別に表示したりと、様々なビデオ出力を行うことができます。 注意:お使いのビデオウォールでビデオ出力を確実に同期させるには、VE805R/VE816R と VM8514 を併用している場合、VM5404H / VM5808H の「Hold Time」(待機時間)を設定してください。詳細は、弊社 Web サイト(http://www.aten.com/jp/ja/)のヘルプセンター(FAQ)にアクセスし、関連情報を検索してください。

(表は次のページに続きます)

項目	説明
Number of Displays (ディスプレイ数) (続き)	◆ Select Template (テンプレートの選択) : この項目をクリックすると、プリセットされたビデオウォールのレイアウトを選択できるウィンドウが表示されます。 ◆ Horizontal (水平) / Vertical (垂直) : 各ドロップダウンメニューを使用すると、ビデオウォールを構成するディスプレイ台数 (最大 64 台まで対応) を選択することができます。この設定はディスプレイの実際のレイアウトに合わせてください。 注意: 「Apply」 (適用) をクリックすると、変更内容を保存します。このとき、プロファイルのプレビューが画面の右側に表示されます。
Output Order (出力順序)	一覧表示されたオプションをクリックすると、自動的に出力ポートを割り当てます。
Bezel Dimension (モニターの額幅)	この 4 つのボックスにディスプレイの実際のモニターの額幅サイズ (単位: mm) を入力してください。モニターの額幅を校了した画像を表示します (ただし、モニターの額と重なる部分の画像は表示されません)。
モニターのロック/ ロック解除  	モニターの額幅設定をロックするには、モニターアイコンをクリックして、4 つのボックスの内、1 つのボックスのモニターの額幅を変更すれば、残りの 3 つにも同じ変更内容が反映されます。 モニターアイコンをクリックして、モニターの額幅設定のロックを解除すれば、4 つのボックスそれぞれにモニターの額幅を設定できます。

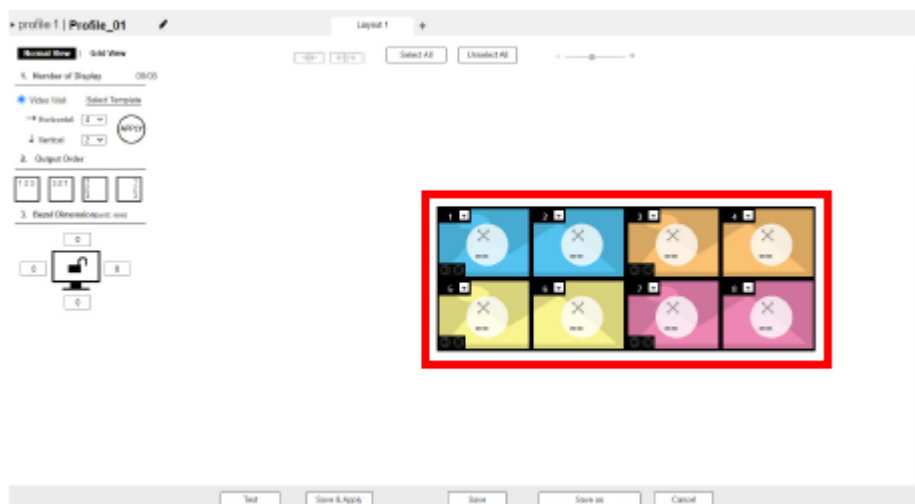
ディスプレイの設定



項目	説明
Output (出力)	選択されたディスプレイを表します。
Video Input (ビデオ入力)	クリックすると、出力に対してビデオソースを選択します。選択されたビデオソース(ポート番号)は、プレビューにおける出力の中央に表示されます。
ラジオボタン	◆ Fit Width of Output(s)(出力幅を一致させる):ディスプレイの幅にビデオを合わせます。 ◆ Fit Height of Output(s)(出力高さを一致させる):ディスプレイの高さにビデオを合わせます。 ◆ Scale to Whole Output(s)(全体の出力にスケーリング):ディスプレイ全体にビデオを合わせます。

ビデオウォールの設定

空欄の各アイコンは、出力ポートと接続ディスプレイを表します。個別またはグループ化された出力は、アイコンを使って作成してください。**個別**出力とは、ビデオを1台のモニターに出力する方法です。**グループ化**出力とは、複数のモニターをグループ化して、一つの大きなディスプレイのようにしてビデオを出力する方法です。



- ◆ アイコンをクリックして、「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニューから、出力ポートとビデオ入力ポートを選択してください(p.71「ディスプレイ設定」参照)。
- ◆ ディスプレイをグループ化するには、複数のアイコンをクリックしてください(p.76「グループ化」参照)。そうしたら、「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニューから、ビデオ入力ポートを選択してください。

- ◆ 「**Display Layout_1**」の隣にある「+」を使うと、同一プロファイル内で追加レイアウトを作成します。
- ◆ プロファイルの名前を変更するには、ペンのアイコンをクリックしてください。
- ◆ 出力ポートすべてを選択するには、「**Select All**」(すべて選択)をクリックしてください。
- ◆ 出力ポートの選択をすべて解除する場合は、「**Unselect All**」(すべて選択解除)をクリックしてください。
- ◆ 保存前に現在のプロファイルを再生してみる場合は、「**Test**」(テスト)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存し、すぐに再生する場合は、「**Save & Apply**」(保存&適用)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを別のプロファイル番号として保存するには、「**Save as**」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
- ◆ 保存していない変更をすべて取り消す場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

未設定の出力アイコン



項目	説明
空欄のアイコン	空欄のアイコンをクリックすると、グリーンに変わり、ディスプレイ設定メニューを使用して、ビデオオプションを設定できます (p.71「ディスプレイの設定」参照)。 ディスプレイに個別表示するには、アイコンを1つクリックして、出力ポート番号とビデオ入力番号を設定してください (下記の「個別出力」参照)。 ビデオウォール表示する場合は、複数のアイコンを選択してから、ビデオ入力番号を選択してください (p.76「グループ化」参照)。
ドロップダウンメニュー	ドロップダウンメニューから出力ポートを選択してください。

個別出力



項目	説明
個別出力	個別出力の場合、選択しているビデオ入力ポート番号と出力ポート番号が表示されます。つまり、 ◆ 各ディスプレイにそれぞれビデオが表示されます。 ◆ アイコンには個別に色が付けられ、ビデオ入力番号が表示されます。 「Independent Output」（個別出力）を選択してから、「Display Preferences」（ディスプレイ設定）メニュー（p.71 参照）を使ってビデオ入力ポート番号を選択してください。
ドロップダウンメニュー	ドロップダウンメニューから出力ポートを選択してください。
ミュート/ビデオ 	オーディオ出力を ON/OFF するには、スピーカーアイコンをクリックしてください。 ビデオ表示を ON/OFF するには、ビデオアイコンをクリックしてください。

グループ化



項目	説明
グループ化	モニターをグループ化するには、グループ化したいアイコンをクリックすると、グリーンの枠が付きまゝ。「→ ←」をクリックして、これらのモニターを 1 台のモニターのようにグループ化してください*。 「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニューからこのグループに割り当てるビデオ入力ポート番号を選択してください。各出力アイコンはグループ化され、同じビデオ入力番号と色で表されます (p.77「グループ」参照)。 注意:グループ化を行う前に、各アイコンに出力ポートを割り当ててください。
グループ化の解除	グループ化を解除したいグループを選択してから、「← →」をクリックしてください。

グループ



項目	説明
グループ	(出力の)グループは同じビデオ入力ポートを共有し、1 つの画面としてビデオ出力します。つまり、 ◆ 複数台のモニターを 1 つの画面としてビデオ表示します。 ◆ アイコンには同じ色とビデオ入力番号が表示されます。 ◆ 「Group」(グループ)を選択したら、「Display Preferences」(ディスプレイ設定)メニューからビデオ入力ポート番号を選択してください。 ◆ 出力をグループ化するには、p.76「グループ化」を参照してください。
ミュート/ビデオ 	オーディオのミュートを ON/OFF にするには、スピーカーのアイコンをクリックしてください。 ビデオ表示を ON/OFF にするには、ビデオアイコンをクリックしてください。

ビデオウォールの例

この例は、4 台のディスプレイで構成されたビデオウォールを表しています。



- ◆ グループ化された出力と個別出力は、それぞれ色別に表示されています。
- ◆ このビデオウォールは、グループ化されたディスプレイ 1 台と、個別ディスプレイ 2 台から構成されています。
- ◆ 青色のグループは 2 台のディスプレイ全体を 1 台のディスプレイに見立てて構成されています。また、ここにはビデオ入力 01 が表示されています。
- ◆ 個々のディスプレイには、それぞれビデオ入力 03、04 のコンテンツが表示されています。

- ◆ 個別のビデオウォールを作成する場合は、ディスプレイレイアウトを追加してください(p.72「ビデオウォールの設定」参照)。

グリッド表示におけるビデオ設定の定義

グリッド表示において、オーディオ/ビデオ出力は、縦軸のオーディオ/ビデオ入力と横軸のオーディオ/ビデオ出力が交差した部分に割り当てられます。

	Output Port							
Input Port	o01	o02	o03	o04	o05	o06	o07	o08
☐ i01								
☐ i02								
☐ i03								
☐ i04								
☐ i05								
☐ i06								
☐ i07								
☐ i08								

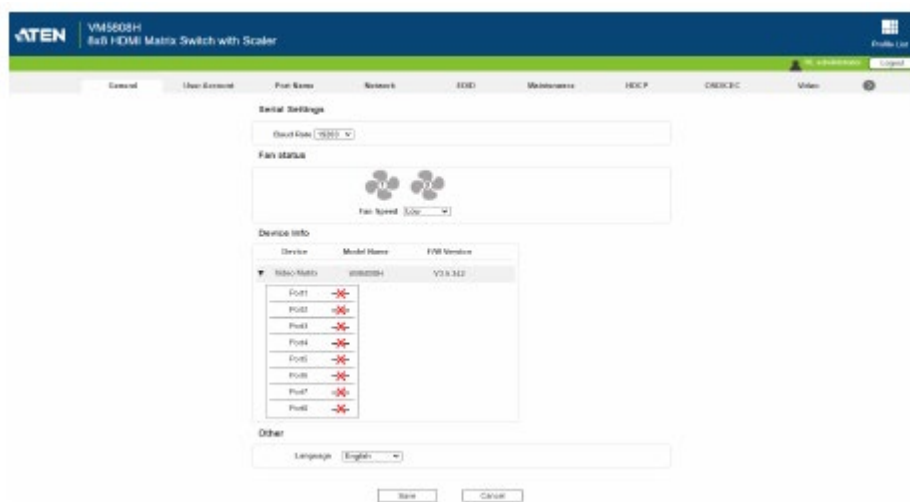
- ◆ 入力ポートと出力ポートの接続を設定するには、出力ポート番号のディスプレイに表示させたい入力ポート番号とその出力ポート番号が交わるボックスをクリックしてください。デフォルトでは、ポート i01 は o01 に、i02 は o02 にといった要領で対応しています。
- ◆ 出力ポートへのビデオ出力を無効にしたい場合は、出力ポートのボックスから**チェックを外してください**。表の中のボックスが黄色からグレーに変わります。
- ◆ すべての出力ポートを特定の入力ポートに並べる場合は、その入力ポートのラジオボタンを**選択してください**。
- ◆ 保存前に現在のプロファイルを再生してみる場合は、「**Test**」(テスト)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存し、すぐに再生する場合は、「**Save & Apply**」(保存&適用)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを保存するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ プロファイルを別のプロファイル番号として保存するには、「**Save as**」(名前を付けて保存)をクリックしてください。
- ◆ 保存していない変更をすべて取り消す場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

出力オプション

出力オプションに関する操作方法は、p.79「システム設定」を参照してください。

システム設定

「System Settings」(システム設定)のメイン画面から「Settings」(設定)をクリックすると、「**General**」(一般)画面が開きます。



- ◆ 「General」(一般)画面では、ボーレート、言語、および冷却ファンを設定したり、デバイス情報を確認したりすることができます。
- ◆ 「User Account」(ユーザーアカウント)画面では、ユーザーアカウントの追加や編集ができます。
- ◆ 「Port Name」(ポート名)画面では、入力ポートおよび出力ポートそれぞれに名前を付けることができます。
- ◆ 「Network」(ネットワーク)画面では、ネットワークの設定ができます。
- ◆ 「EDID」画面では、EDID モードが設定できます。
- ◆ 「Maintenance」(メンテナンス)画面では、本製品のファームウェアをアップグレードすることができます。
- ◆ 「HDCP」画面では、HDCP キーの参照や設定を行うことができます。
- ◆ 「OSD/CEC」画面では、ポート OSD や CEC の設定を管理することができます。
- ◆ 「Video」(ビデオ)画面では、入力ポートを変更した際に、モニターの動作をどうするのかを決めるシームレス切替オプションを設定できます。
- ◆ 「Read Status」(状態の読み込み)画面を使うと、ユーザーはシステムの状態を読み込むことができます。
- ◆ メイン画面に戻るには、「**Back to Profile**」(プロフィールに戻る)をクリックしてください。

一般

「General」(一般)画面は、「Serial Settings」(シリアル設定)、「Fan Status」(ファンの状態)、「Device Info」(デバイス情報)、「その他」といった 4 つのセクションから構成されています。

シリアル設定

- ◆ 「Baud Rate」(ボーレート)ドロップダウンメニューから、シリアルポートのボーレート設定を選択してください。

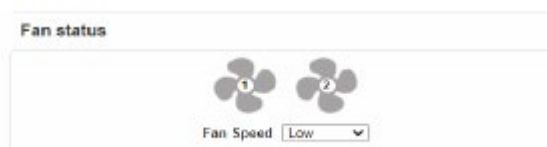
➤ 選択可能な値:9600、19200、38400、115200



ファンの状態

- ◆ このセクションには、VM5404H/VM5808H に搭載されている 2 基のファンの状態が表示されます。
- ◆ VM5404H/VM5808H は、ファンの回転速度を手動で選択できるドロップダウンメニューも提供しています。

注意: ファンの動作が停止している場合やファンの電源が OFF になっている場合、ファンのアイコンは右のような表示に変わります。



デバイス情報

- ◆ このセクションには、デバイスの種類、型番、ファームウェアバージョン、およびポートの状態が一覧で表示されます。

Device	Model Name	F/W Version
▼ Video Matrix	VM6888H	V3.5.342
Port1	→X←	
Port2	→X←	
Port3	→X←	
Port4	→X←	
Port5	→X←	
Port6	→X←	
Port7	→X←	
Port8	→X←	

その他

- ◆ 「**Language**」(言語)ドロップダウンメニューから、ユーザーインターフェースで優先的に使用する言語を選択してください。
 - 選択可能な言語: 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語

Other

Language English ▼

ユーザーアカウント

「User Account」(ユーザーアカウント)画面では、ユーザー情報の追加・編集・削除、および VM5404H/VM5808H の GUI にアクセスする際に使用するパスワードの変更を行うことができます。

注意: これはアドミニストレーターに限定された機能です。

User Name	Level	Description
administrator	Administrator	Default User
user_1	Basic User	User Account

+ Add account Edit

- ◆ **Add account** (アカウントの追加) - このボタンをクリックすると、リストに新規ユーザーを追加します。VM5404H/VM5808H は最大 32 名のユーザーに対応し、最大 16 名のユーザーによる同時アクセスに対応しています(詳細は p.83 を参照)。
- ◆ **Edit** (編集) - このボタンをクリックすると、ユーザー情報を変更します。アドミニストレーターは、このオプションを使って個々のアカウントを編集することができます。

User Name	Level	Description
Edit 111111	Administrator	111111
Edit 12345	Administrator	
Edit administrator	Administrator	Default user

- **Edit** (編集) - この部分をクリックすると、ユーザー名の変更、パスワードの設定、説明情報の追加、ユーザーの操作権限の設定(詳細は p.83 を参照)を行います。
- **Delete** (削除) - ユーザーアカウントを削除します。



- ◆ デフォルトのアドミニストレーターのユーザー名は「administrator」、パスワードは「password」です。

アカウントの追加

「+ Add Account / Edit User」(アカウントの追加/ユーザーの編集)ボタンを使うと、ユーザーアカウントの作成、パスワードの設定、説明情報の追加、および VM5404H/VM5808H の GUI アクセス時におけるユーザーの操作権限の設定 (p.84 参照)を行うことができます。

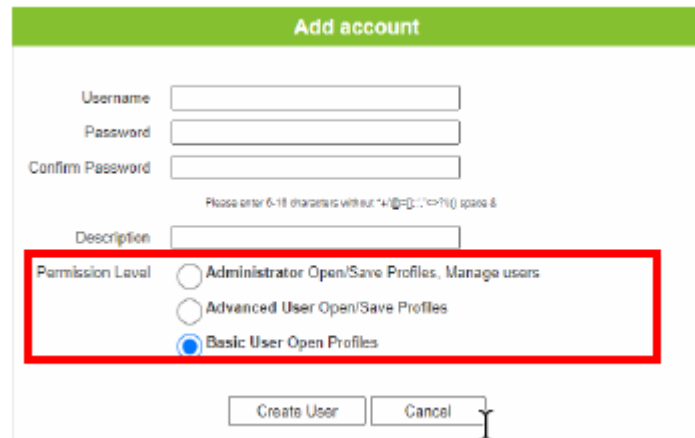
- ◆ 「Username」(ユーザー名)欄に、ユーザーネームを新規で入力するか、既存のユーザーネームを編集してください。
- ◆ 「Password」(パスワード)欄にパスワードを入力したら、「Confirm Password」(確認用パスワード)欄にも、このパスワードと同じ文字列を入力してください。

注意: ユーザーネームとパスワードは各種言語の文字に対応し、必ず 5～16 文字を使用してください(ただし、: ; = [] + = / ? ¥ | は使用不可)。パスワードは大文字/小文字を区別しますが、ユーザー名は小文字にのみ対応しています。

- ◆ ユーザーに関する説明を追加または修正してください。
- ◆ ユーザーに付与したい操作権限を選択してください (p.84 参照)。
- ◆ データを保存するには、「**Create User**」(ユーザーの作成)をクリックしてください。
- ◆ すべての変更を中止して終了するには「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。
- ◆ ユーザーが VM5404H/VM5808H の GUI からログインした場合、ユーザー設定を修正することはできず、この画面の入力欄の色がグレーに変わります。

操作権限

ユーザーの「New/Edit User」(ユーザーの新規/編集)画面の下側にある「Permission」(操作権限)セクションを使用して、ユーザーの操作権限を設定することができます。



The screenshot shows a web form titled "Add account" with a green header. The form contains several input fields: "Username", "Password", "Confirm Password", and "Description". Below these fields is a "Permission Level" section, which is highlighted with a red rectangular box. This section contains three radio button options: "Administrator Open/Save Profiles, Manage users", "Advanced User Open/Save Profiles", and "Basic User Open Profiles". The "Basic User Open Profiles" option is selected, indicated by a blue dot. At the bottom of the form are two buttons: "Create User" and "Cancel".

次の3種類の操作権限が利用可能です。

- ◆ **Administrator** (アドミニストレーター) — このレベルはユーザー管理に加え、VM5404H/VM5808H へのアクセスと操作に関するすべての権限を持っています。
- ◆ **Advanced User** (上級ユーザー) — このレベルは VM5404H/VM5808H のアクセスと操作に関するすべての権限を持っていますが、ユーザー管理の権限は持っていません。
- ◆ **Basic User** (基本ユーザー) — このレベルは基本的な機能(接続、プロファイルの呼び出し)に関する権限しか持っていません。

ポート名

「Port Name」(ポート名)の画面では、識別がしやすいように入力および出力ポートに名前を付けることができます。

Please enter characters without using *+@=|:;~?<>?|()&

Output Port	
Port1	01 Port_Out_1
Port2	02 Port_Out_2
Port3	03 Port_Out_3
Port4	04 Port_Out_4
Port5	05 Port_Out_5
Port6	06 Port_Out_6
Port7	07 Port_Out_7
Port8	08 Port_Out_8

Input Port	
Port1	01 Port_In_1
Port2	02 Port_In_2
Port3	03 Port_In_3
Port4	04 Port_In_4
Port5	05 Port_In_5
Port6	06 Port_In_6
Port7	07 Port_In_7
Port8	08 Port_In_8

Save Cancel

- ◆ 入力/出力ポートに名前を付けるには、対応する欄に16文字までの名前を入力してから「**Save**」(保存)をクリックしてください(:;=|:~?<>?|()&は入力不可)。
- ◆ 入力対応言語は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語です。
- ◆ 入力/出力ポート名を変更するには、対応する欄に名前を上書きした後、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ 入力ポートと出力ポートに同じ名前を付けることができます。
- ◆ 1つ前のレベルに移動したり、初期画面に戻ったり、終了したりするには、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

注意： VM5404H の場合、入力/出力ポート共に、名前入力の欄が4ポート分までとなります。

ネットワーク

「Network」(ネットワーク)画面では、VM5404H/VM5808H に接続するための IP 設定、Web サイトのタイムアウト設定および Telnet 設定を行うことができます。

DHCP	☒ Enable ☐ Disable
IP Address	192.168.1.78
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.1.1
Website Timeout	5 min ▼
MAC Address	00:10:74:AD:08:0E
Telnet	☒ Enable ☐ Disable

DHCP を**有効**にすると、DHCP サーバーが VM5404H/VM5808H に IP アドレスを割り当てます。**無効**を選択した場合、固定 IP アドレスを入力してください。

下記のデフォルト設定を使用する場合は、「**Reset**」(リセット)をクリックしてください。

- ◆ IP アドレス - 192.168.0.60
- ◆ サブネットマスク - 255.255.255.0
- ◆ デフォルトゲートウェイ - 192.168.0.1
- ◆ Web サイトタイムアウト* - 5 分
- ◆ Telnet - 有効

入力を終わったら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。保存には数秒かかることがあります。画面が更新されたら、入力した IP アドレスへ自動的にリダイレクトします。

* このオプションは VM5404H/VM5808H にログインした後、Web 接続中に操作が行われな
い時間が経過したらログアウトするかを管理します。このオプションを無効にするには、
「N/A」を選択してください。これ以外に選択できる値は、5 分、10 分、30 分、60 分です。
いずれの変更もすぐに有効となります。

EDID

「EDID Settings」(EDID 設定)画面では、EDID モードを参照したり、選択したりして、VM5404H/VM5808H がディスプレイに対して最適な解像度を適用するようにできます。

注意: EDID モードは、フロントパネルにあるプッシュボタンからも選択可能です(p.41「EDID モード」参照)。

EDID は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。

EDID モード

画面の左側にある「EDID Mode」(EDID モード)ラジオボタンを使用して、あらかじめ設定されている EDID モードを選択できます。

EDID Mode

☒ ATEN Default
☐ Port1 Mode
☐ Remix
☐ Customized

Apply

Port EDID Status

Port 1 ATEN Default
Port 2 ATEN Default
Port 3 ATEN Default
Port 4 ATEN Default
Port 5 ATEN Default
Port 6 ATEN Default
Port 7 ATEN Default
Port 8 ATEN Default

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display/Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
6. Standard Timings
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data
8. Detail Timing/Display Description 3
9. Detail Timing/Display Description 4
10. Detail Timing/Display Description 5

Model ID: 0x0001
Manufacturer ID: ATN
Serial Number: 0x0000275C
Manufacture Date: 2015 Week 42
Week of Manufacture: 42
Year of Manufacture: 2015

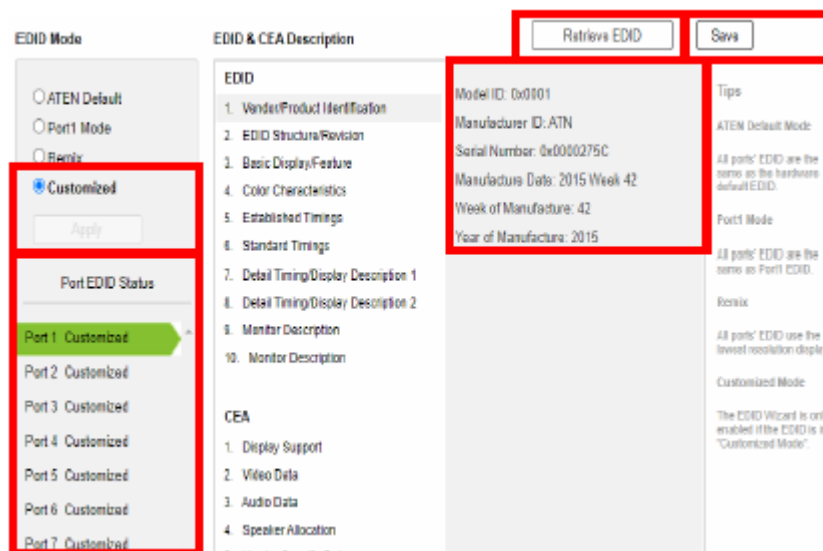
EDID モードを選択したら、「Apply」(適用)をクリックしてください。VM5404H/VM5808H は選択した EDID モードを使用するようになります。

オプションは下記の通りです。

- ◆ **ATEN Default** (ATEN デフォルト) : 本体内蔵の EDID を全ての入力ポートに適用します。
- ◆ **Port 1 Mode** (ポート 1 モード) : HDMI 出力ポート番号 1 に接続されたディスプレイの EDID を全ての入力ポートに適用します。
- ◆ **Remix** (リミックス) : 全ポートの EDID は最適な解像度を使用します。
- ◆ **Customized** (カスタマイズ) : 接続モニター/ディスプレイの EDID 設定を入力ソースポートに自動的に読み出し、保存します。保持後は、ブラウザ GUI を使用して設定を変更できます。p.89 「カスタマイズモード」を参照してください。

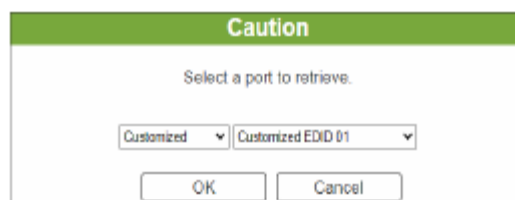
カスタマイズモード

「Customized Mode」(カスタマイズモード)を使用すると、入力ソースポートに対して、接続モニター/ディスプレイの EDID 設定を自動的に読み出ししたり、保存したりすることができます。



- ◆ 画面の一番左側のパネルにある「EDID Mode」(EDID モード)セクションから「Customized」(カスタマイズ)を選択し、「Apply」(適用)をクリックしてください。
- ◆ **Port EDID Status**(ポート EDID の状態): EDID 設定 (01~08)を保存したい入力ソースポートを選択してください。
- ◆ **Retrieve EDID**(EDID の読込): クリックすると、すでに入力ソース側に送信している「カスタマイズ」(入力 01~08から選択)、本体内蔵の「ATEN デフォルト」※、接続中のディスプレイの EDID を読み出す「ディスプレイモード」のいずれかを呼び出して参照できるポップアップウィンドウが表示されます。読み込みを行うポートを選択してください。

※ 本体内蔵の EDID を変更する場合は、RS-232C コマンドからのみ変更可能です。



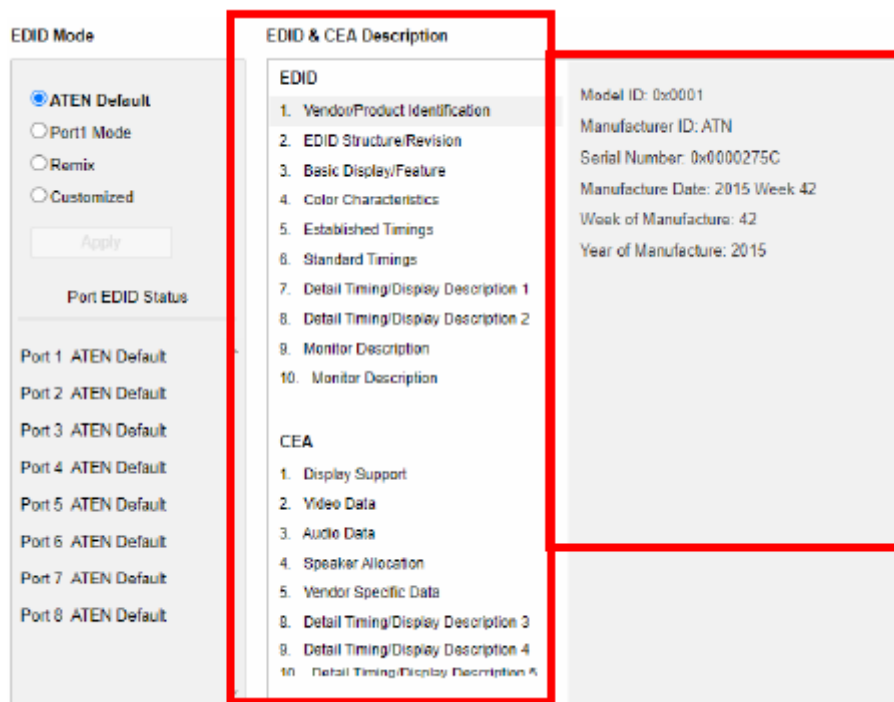
- ◆ 右側のパネルに、修正可能な保存されている EDID 設定の概要が表示されます。セッションの間、この設定を「Current」(現在の)ポートまたは「All Ports」(全てのポート)に適用するかを選択してから「Save」(保存)をクリックしてください。



A dialog box with a green header labeled "Save". The main text asks "Save changes to the current port or all ports?". At the bottom, there are three buttons: "Current", "All Ports", and "Cancel".

EDID & CEA 説明

画面の右側のパネルには、選択された EDID および CEA モードの設定内容が参照できます。



The image shows a software window titled "EDID & CEA Description". It is divided into three main sections:

- EDID Mode (Left):** Contains radio buttons for "ATEN Default" (selected), "Port1 Mode", "Remix", and "Customized". Below these is an "Apply" button and a "Port EDID Status" section listing ports 1 through 8, all set to "ATEN Default".
- EDID & CEA Description (Center):** A list of 10 items. Items 1-10 are grouped under "EDID", and items 1-10 are grouped under "CEA". The "EDID" section includes: 1. Vendor/Product Identification, 2. EDID Structure/Revision, 3. Basic Display/Feature, 4. Color Characteristics, 5. Established Timings, 6. Standard Timings, 7. Detail Timing/Display Description 1, 8. Detail Timing/Display Description 2, 9. Monitor Description, 10. Monitor Description. The "CEA" section includes: 1. Display Support, 2. Video Data, 3. Audio Data, 4. Speaker Allocation, 5. Vendor Specific Data, 6. Detail Timing/Display Description 3, 7. Detail Timing/Display Description 4, 8. Detail Timing/Display Description 5.
- EDID & CEA Description (Right):** A panel displaying the selected EDID data. It shows: Model ID: 0x0001, Manufacturer ID: ATN, Serial Number: 0x0000275C, Manufacture Date: 2015 Week 42, Week of Manufacture: 42, Year of Manufacture: 2015.

- ◆ 左側の欄から、参照または変更したいオプションをクリックしてください。この欄には、EDID および CEA という 2 つのカテゴリがあります。
- ◆ 左側の欄のメニュー項目をハイライトすると、画面の右側に対応する EDID の現在の設定内容が表示されます。メニュー項目の中には読取専用のものがあります。
- ◆ この 2 つの欄に関する詳細は、p.91「EDID のカスタマイズ設定」を参照してください。

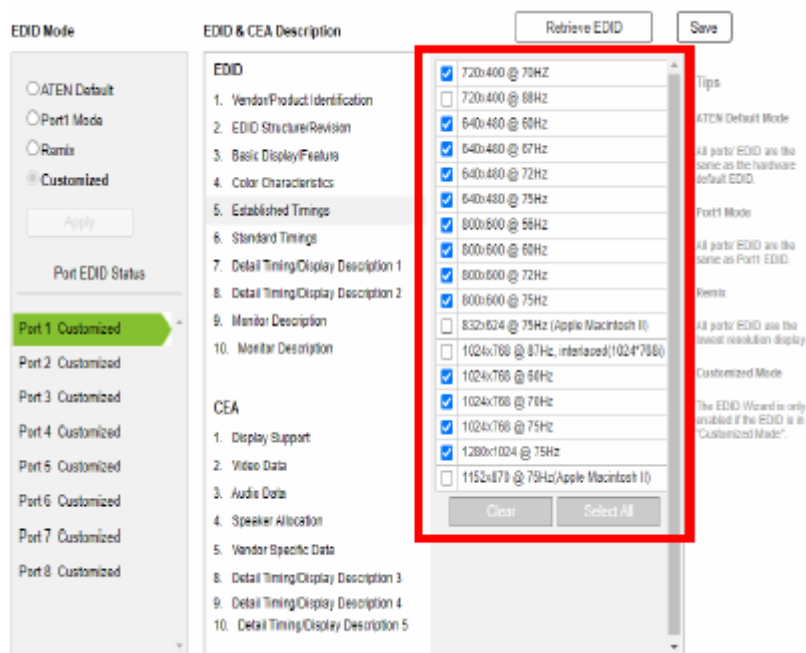
EDID のカスタマイズ設定

EDID の構造は、トータルで 128 バイトから構成されており、左側の欄に表示された各見出しにある数字はバイト数を表しています。

プリセットされた EDID モード (Port 1、Default、Remix) は、編集できません。カスタマイズ EDID の画面は編集可能で、以下のセクションで説明します。

タイミングの設定

「Established Timing」(タイミングの設定) 画面には、ディスプレイデバイスがサポートするビデオ解像度/タイミングが一覧表示されます。



- ◆ 接続モニター/ディスプレイに適用したい解像度を選択してください。
- ◆ 項目全てを非選択にするには、「Clear」(クリア)をクリックしてください。
- ◆ 項目全てにチェックを入れるには、「Select All」(すべて選択)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

標準タイミング

「Standard Timing」(標準タイミング)画面では、「Established Timing」(タイミングの設定)画面に表示された解像度/タイミングに加えて、ディスプレイデバイスが対応可能な 8 種類の解像度/タイミングを表示します。

The screenshot shows the 'EDD & CEA Description' window. On the left, under 'EDD Mode', 'Customized' is selected. The 'Port EDD Status' section shows 'Part 1 Customized' selected. The main area displays the 'EDD' table, which is highlighted with a red box. The table has four columns: 'H Active Pixel', 'V Active Pixel', 'R Refresh Rate', and 'Aspect Ratio'. Below the table, the 'CEA' section is visible.

H Active Pixel	V Active Pixel	R Refresh Rate	Aspect Ratio
H 1920	V 1200	R 60	4:3
H 1280	V 1024	R 60	5:4
H 1440	V 1024	R 60	4:3
H 1440	V 960	R 60	16:10
H 1600	V 1200	R 60	16:10
H 1920	V 1080	R 60	16:9
H 1280	V 800	R 60	16:10
H 1920	V 1200	R 60	16:10

- ◆ 「H Active Pixel」(垂直アクティブピクセル)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 「Aspect Ratio」(アスペクト比率)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。
- ◆ 変更を適用するには、「Save」(保存)をクリックしてください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

「Detail Timing/Display Description」(タイミング/ディスプレイの詳細説明)画面には、ビデオ解像度の更なるオプションと解像度/タイミングの詳細説明があります。

The screenshot shows the 'EDD & CEA Description' window. On the left, there's a sidebar with 'EDD Mode' (ATEN Default, Part1 Mode, Random, Customized) and a list of parts (Part1 to Part8 Customized). The main area is titled 'EDD & CEA Description' and contains a list of descriptors (1. Vendor/Product Identification, 2. EDD Structure/Revision, 3. Basic Display Features, 4. Color Characteristics, 5. Established Timings, 6. Standard Timings, 7. Detail Timing/Display Descriptor 1, 8. Detail Timing/Display Descriptor 2, 9. Monitor Description, 10. Monitor Description). The 'Resolution' dropdown menu is highlighted with a red box. Below it, the 'Resolution Detail' table is visible:

Resolution	Horizontal	Vertical
1920x1080	1920	1080
1280x720	1280	720
1280x800	1280	800
1024x768	1024	768
800x600	800	600
640x480	640	480

ドロップダウンメニューから、接続モニター/デバイスに合う解像度の値を選択してから、「Save」(保存)をクリックしてください。

モニターの詳細

「Monitor Description」(モニターの詳細)画面では、モニター/ディスプレイデバイスの水平/垂直スキャン範囲やピクセルクロックレートといった表示スペックを設定します。

EDID Mode

☐ ATEN Default
☐ Port1 Mode
☐ Remix
☒ Customized

Apply

Port EDID Status

Port 1 Customized
Port 2 Customized
Port 3 Customized
Port 4 Customized
Port 5 Customized
Port 6 Customized
Port 7 Customized
Port 8 Customized

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
6. Standard Timings
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data
6. Detail Timing/Display Description 3
7. Detail Timing/Display Description 4
8. Detail Timing/Display Description 5

Retrieve EDID Save

	Min	Max
Horizontal Scan Range	15	102
Vertical Scan Range	23	121
Pixel Clock Rate (MHz)	210	(10-255)

Tips

ATEN Default Mode
All ports' EDID are the same as the hardware default EDID.

Port1 Mode
All ports' EDID are the same as Port1 EDID.

Remix
All ports' EDID use the lowest resolution display.

Customized Mode
The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in "Customized Mode".

ご使用のデバイスに合う値を入力してから、「**Save**」(保存)をクリックして、この変更を適用させてください。

CEA 設定

「CEA」は EDID の拡張データで、EDID の標準定義を更に拡張して、モニター/ディスプレイデバイスの詳細な機能に対応させたものです。

ディスプレイサポート

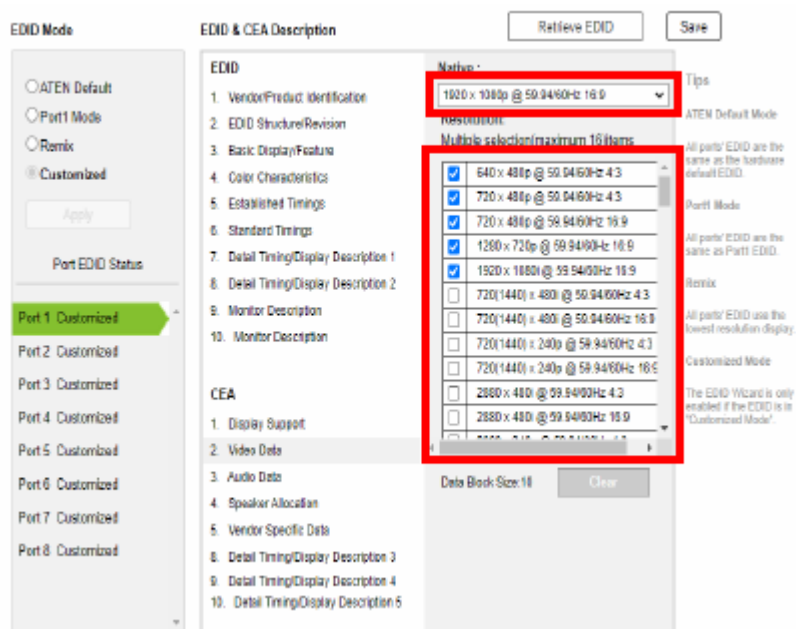
「Display Support」(ディスプレイサポート)画面では、ディスプレイの基本的なデジタルコンポーネントを表示します。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' configuration window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. The main area is divided into 'EDID' and 'CEA' sections. The 'EDID' section lists 10 items, with 'YCbCr' highlighted in a red box, showing 'YCbCr444' and 'YCbCr422' both selected. The 'CEA' section lists 10 items, with 'Display Support' selected. Buttons for 'Retrieves EDID' and 'Save' are at the top right. A 'Tips' section on the far right provides additional information.

ご使用のディスプレイに合う YCbCr モードを選択してから、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

ビデオデータ

「Video Data」(ビデオデータ)画面には、PC モニター以外のその他のデバイスで対応しているビデオ解像度/タイミングのディスプレイを追加表示しています(例:1080i)。



- ◆ 接続ディスプレイデバイスの元の解像度を選択してください。
- ◆ 接続モニター/ディスプレイで動作する解像度を選択してください。
- ◆ 項目全てを非選択にするには、「**Clear All**」(すべてクリア)をクリックしてください。
- ◆ 変更を適用するには、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

オーディオデータ

「Audio Data」(オーディオデータ)画面では、デバイスに対するオーディオの詳細設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. Below it, 'Port EDID Status' shows 'Part 1 Customized' is active. The main area is divided into 'EDID' and 'CEA' sections. The 'Audio Data' item under 'CEA' is selected, and its configuration area is highlighted with a red box. This area contains six 'Audio Format' dropdown menus, with the first one set to 'Linear PCM 2-channel'. On the right, a 'Tips' section provides additional context.

EDID Mode

- ☐ ATEN Default
- ☐ Part1 Mode
- ☐ Remix
- ☒ Customized

Apply

Port EDID Status

- Part 1 Customized
- Part 2 Customized
- Part 3 Customized
- Part 4 Customized
- Part 5 Customized
- Part 6 Customized
- Part 7 Customized
- Part 8 Customized

EDID & CEA Description

EDID

1. Vendor/Product Identification
2. EDID Structure/Revision
3. Basic Display/Feature
4. Color Characteristics
5. Established Timings
6. Standard Timings
7. Detail Timing/Display Description 1
8. Detail Timing/Display Description 2
9. Monitor Description
10. Monitor Description

CEA

1. Display Support
2. Video Data
3. Audio Data
4. Speaker Allocation
5. Vendor Specific Data
6. Detail Timing/Display Description 3
7. Detail Timing/Display Description 4
8. Detail Timing/Display Description 5

Audio Format 1: Linear PCM 2-channel

Audio Format 2:

Audio Format 3:

Audio Format 4:

Audio Format 5:

Audio Format 6:

Buttons: Retrieve EDID, Save

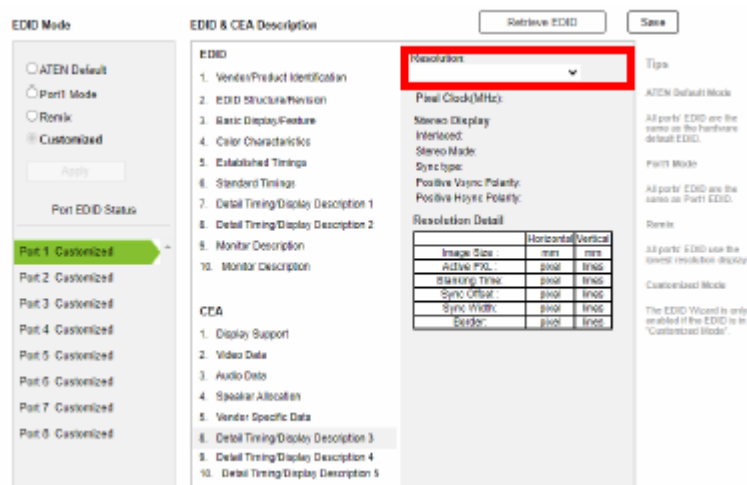
Tips

- ATEN Default Mode: All ports' EDID are the same as the hardware's default EDID.
- Part1 Mode: All ports' EDID are the same as Part1 EDID.
- Remix: All ports' EDID use the lowest resolution display.
- Customized Mode: The EDID Wizard is only enabled if the EDID is in 'Customized Mode'.

ドロップダウンメニューから、ご使用のオーディオ出力デバイスに適用する「**Audio Format**」(オーディオフォーマット) (1～6)を選択してから、「**Save**」(保存)をクリックして、変更を適用してください。

タイミング/ディスプレイの詳細説明

「Detail Timing/Display Description」(タイミング/ディスプレイの詳細説明)画面には、ビデオ解像度の更なるオプションと(EDID で設定したのに加えて)解像度/タイミングの詳細が表示されます。



The screenshot shows the 'EDID & CEA Description' window. On the left, under 'EDID Mode', 'Customized' is selected. The main area is divided into 'EDID' and 'CEA' sections. The 'Resolution' dropdown menu is highlighted with a red box. Below it, the 'Resolution Detail' table is visible.

	Horizontal	Vertical
Image Size	mm	mm
Active PXL	pixel	pixel
Blanking Time	pixel	pixel
Sync Offset	pixel	pixel
Sync Width	pixel	pixel
Border	pixel	pixel

「Resolution」(解像度)ドロップダウンメニューから接続モニター/ディスプレイに合った解像度の値を選択してから、「Save」(保存)をクリックしてください。

メンテナンス

「Maintenance」(メンテナンス)画面では VM5404H/VM5808H のファームウェアアップグレード、およびシステム設定のバックアップやリストアを行うことができます。これはアドミニストレーターのみが操作可能な機能です。



VM5404H/VM5808H のファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse**」(参照) ボタンをクリックして、ファームウェアアップグレードファイルを読み出してください。ローカル PC に正しいファイルが保存されていることを確認してください。
2. 「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックして、アップグレードを開始してください。

注意: ファームウェアをアップデートしたら、Web ブラウザのキャッシュをクリアして画面を閉じ、起動しなおすことを推奨します。これによって、確実に GUI が最新の状態に更新され、機能が正しく行われるようになります。

VM5404H/VM5808H のシステム設定のバックアップを作成するには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Backup**」(バックアップ) ボタンをクリックしてください。そうすると、設定ファイルのダウンロードを開始します。

VM5404H/VM5808H のシステム設定をリストアするには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Browse**」(参照) ボタンをクリックして、設定ファイルを読み出してください。ローカル PC に正しいファイルが保存されていることを確認してください。
2. 「**Restore**」(リストア)をクリックして、リストア処理を開始してください。

注意: ユーザーアカウントの情報はバックアップを作成したり、リストアしたりすることができません。別途、p.62「プロファイルのインポート/エクスポート」でバックアップを作成してください。

HDCP

「HDCP」画面では、入出力ポート間で使用する HDCP のバージョンの参照や設定を行うことができます。また、各種デバイス間でシームレス切替を確保することもできます。これは、アドミニストレーターと上級ユーザーのみに限定された機能です。



入力

このセクションでは、ポートに接続されているコンテンツが HDCP 1.4 か非 HDCP であるかを選択することができます。



接続

このセクションでは、入出力の接続の組み合わせを視覚的に確認することができます。入力を選択すると、その入力に対する出力との関連付けがグリーン色の線で表示されます。

HDCP 確認

「HDCP Check」(HDCP 確認) ボタンを使うと、接続ディスプレイの HDCP 機能を一括で確認することができます。確認結果は、各ポートの「Fix HDCP」(固定 HDCP) チェックボックスの後ろにあるカッコ内に表示されます。

OSD/CEC

この画面では、全ポートに対する OSD および CEC の設定を確認したり設定内容を変更したりすることができます。

OSD / CEC

Port	OSD	CEC
	Apply to All ▼	Apply to All ▼
Port1	☒ ON	☐ OFF
Port2	☒ ON	☐ OFF
Port3	☒ ON	☐ OFF
Port4	☒ ON	☐ OFF
Port5	☒ ON	☐ OFF
Port6	☒ ON	☐ OFF
Port7	☒ ON	☐ OFF
Port8	☒ ON	☐ OFF

* The CEC setting is only for output boards, please make sure all devices have this capability.

- ◆ **OSD**:ポートに対してデフォルトの OSD を設定します。OSD が ON に設定されている場合、出力ポートに対して設定やポート変更が行われると、リアルタイムでテキストメッセージがディスプレイに 10 秒間表示されます。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、ポートごとに ON/OFF を選択して、この機能を有効にするか無効にするかを設定してください。
- ◆ **CEC**:CEC 機能は、相互接続された HDMI デバイス間の通信や応答を 1 つのリモコンの操作で行うことができる機能です。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、ポートごとに ON/OFF を選択して、この機能を有効にするか無効にするかを設定してください。
- ◆ 設定内容を保存する場合は「**Save**」(保存)をクリックしてください。また、デフォルトの設定に戻す場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

ビデオ

「Video」(ビデオ)画面では、入力ポートを変更した際に、モニターの動作をどうするかを決めるシームレス切替オプションを設定できます。

Port	*Seamless Switch	Transition	Period	Scale Resolution
	Apply to All ▼	Apply to All ▼	Apply to All ▼	Apply to All ▼
Port1	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port2	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port3	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port4	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port5	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port6	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port7	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼
Port8	☒ ON	☐ OFF	— ▼	1920x1080@60HZ ▼

注意: シームレス切替機能を有効にしている場合は、下記の点にご注意ください。

1. 「Transition」(トランジション)、「Period」(時間の長さ)、「Scale Resolution」(スケーリング解像度)の各オプションを有効にすることができます。
2. ビデオ出力で 3D や Deep Color、インターレース解像度(すなわち 1080i)が正しく表示されない場合があります。これらの機能を使用する場合は、あらかじめシームレス切替機能を無効にしておいてください。
3. ビデオ表示が画面に収まらない(画面に合わない)ことがあります。この場合は、お使いの機器で表示設定を調整してください。

入力ポートの切替時に発生するビデオの歪みや遅延を解消するには、シームレス切替機能を有効にしてください。この場合、ドロップダウンメニューを使って設定内容をすべてのポートに適用するか、「ON/OFF」ボタンを使ってポートごとにシームレス切替機能を有効または無効に設定してください。シームレス切替機能が有効である場合、下記のオプションが有効になります。

- ◆ **Transition**(トランジション): 入力ポートを変更した際にビデオ表示をフェードアウトさせることができます。このフェードアウトさせるスピードは、「Period」(時間の長さ)で設定することができます。
 - ドロップダウンメニューから、「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、ポートごとに「ON/OFF」を選択して、この機能の有効/無効を設定してください。

- ◆ **Period** (時間の長さ): ビデオ表示のフェードアウト時間を設定できます。
 - ドロップダウンメニューからすべてのポートまたは各ポートに対して「Slow」(ゆっくり)、「Normal」(普通)、「Fast」(速い)を選択してください。

- ◆ **Scale Resolution** (解像度): 選択した解像度でビデオを表示するようにスケーリングします。上部のドロップダウンメニューを使って「Apply to All」(すべてに適用)を選択するか、各ポートの右側にあるドロップダウンメニューから各ポートに適用する解像度を選択してください。設定可能なオプションは下記のとおりです。
 - 560×360@60Hz
 - 720×576@50Hz
 - 768×480@60Hz
 - 1024×768@60Hz
 - 1280×720@50Hz (720p)
 - 1280×720@60Hz (720p)
 - 1920×1080@30Hz (1080p)
 - 1280×800@60Hz
 - 1280×1024@60Hz
 - 1366×768@60Hz
 - 1400×1050@60Hz
 - 1600×900@60Hz
 - 1600×1200@60Hz
 - 1920×1200@60Hz
 - 1920×1080@50Hz (1080p)
 - 1920×1080@60Hz (1080p)

- ◆ プロファイルを保存する場合は「**Save**」(保存)を、別のプロファイル番号として保存する場合は「**Save as**」(別名で保存)を、それぞれクリックしてください。
- ◆ 変更内容を破棄してプロファイルリストに戻る場合は、「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

状態の読み込み

「Read Status」(状態の読み込み)画面を使うと、ユーザーはシステムの状態を確認することができます。ここで参照できるのは、システムネットワーク、デバイス情報、ビデオ接続、CEC/OSD の設定、出力解像度に関する各情報です。

System Network 									✓
IP Address	192.168.1.78								
Sub Mask	255.255.255.0								
Gateway	192.168.1.1								
MAC Address	00:10:74:AD:08:0E								
IP Assign	DHCP								

Device Info 									✓
FW Version	V3.5.342 Mar 24 2020 17:17:40								
FPGA SYS Version	V016								
FPGA MTX Version	V013								
FPGA RX Version	V014								
FPGA TX Version	V03B								
Panel FW Version	V10R073								

Video Connection 									✓
Output	1	2	3	4	5	6	7	8	
Input	1	1	3	4	2	6	7	8	

CEC 									✓
Output	1	2	3	4	5	6	7	8	
Setting	X	X	X	X	X	X	X	X	

OSD 									✓
Output	1	2	3	4	5	6	7	8	
Setting	O	O	O	O	O	O	O	O	

Output Resolution 									✓
Output	1	2	3	4					
Reso	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ					
Output	5	6	7	8					
Reso	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ	1920x1080@60HZ					

第5章

モバイル操作

概要

VM5404H/VM5808H は、ビデオマトリックスコントロールアプリに対応しています。このアプリは、プロファイルやオーディオ/ビデオ入力の切替や、ファームウェアのバージョンアップの通知を行う無料のモバイル版アプリで、各操作は、対象となる VM5404H/VM5808H が接続している LAN を介して実行されます。このモバイルアプリは、VM5404H/VM5808H のフロントパネルや Web インターフェースにアクセスできない環境において、プロファイルや AV ソースの切替を行うのに特に有用です。

ビデオマトリックスコントロールアプリ

システム要件

- ◆ アプリをインストールする前に、お使いのモバイルデバイスが次の対応モバイル OS の条件を満たしているかどうか、ご確認ください。

モバイル OS	対応バージョン
iOS	12.0 以降
Android	8.0 以降

- ◆ VM5404H/VM5808H がイーサネットポート経由で LAN に接続されていることをご確認ください。

インストールと接続

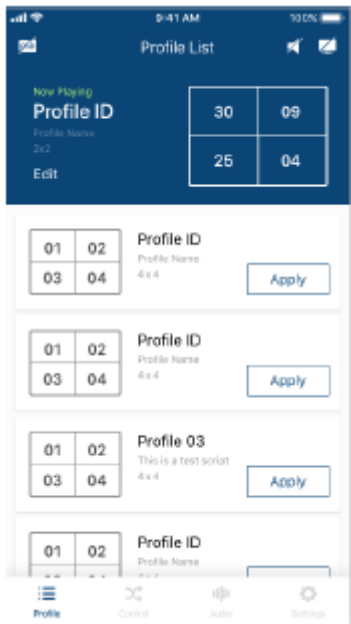
モバイルデバイスにビデオマトリックスコントロールアプリをインストールするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. モバイルデバイスで、「App Store」 または「Google Play」 のアイコンをタップしてください。
2. 検索ボックスで、「Video Matrix Control App」と入力してください。
3. 「Video Matrix Control App」をタップして、アプリをインストールしてください。
4. アプリのアイコンをタップしてください。
5. 画面内の指示に従い、ネットワークのスキャン、接続履歴からの選択、デバイスの IP アドレスとパスワードの指定のいずれかの方法を用いて、目的の VM5404H/VM5808H に接続してください。

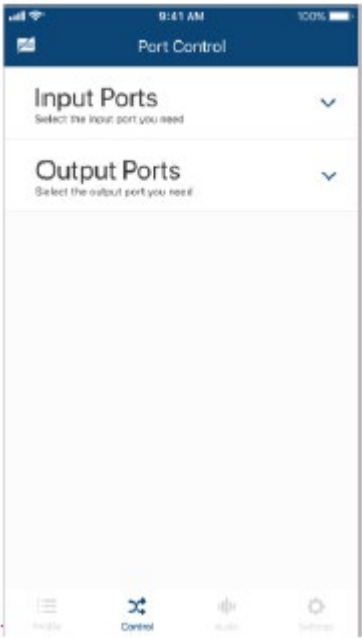
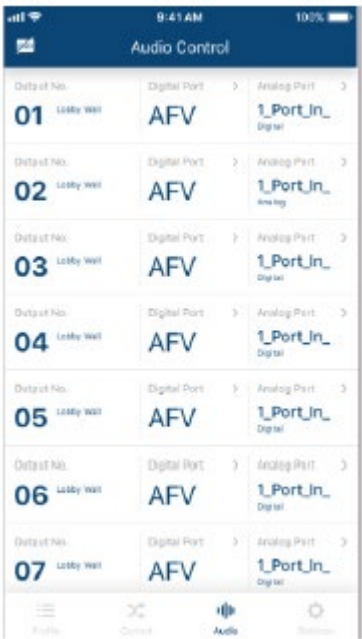
-
- 注意:**
- ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリは、一度に 1 台の VM5404H/VM5808H を操作することを前提にして設計されています。
 - ◆ VM5404H/VM5808H が検出できない場合は、VM5404H/VM5808H とアプリが同じ LAN に接続されていることをご確認の上、再試行してください。
-

操作インターフェース

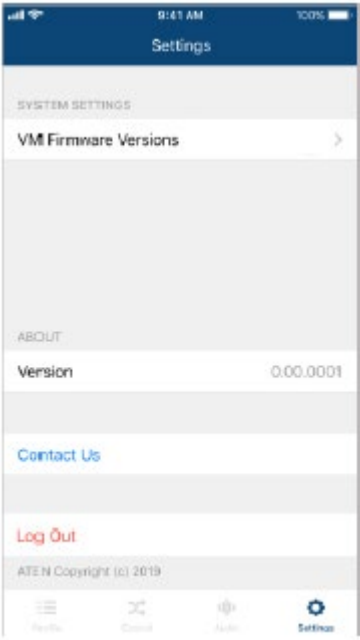
ビデオマトリックスコントロールアプリの機能は、「**Profile**」(プロフィール)、「**Control**」(操作)、「**Audio**」(オーディオ)、「**Settings**」(設定)の 4 つのタブに分類されます。各タブの概要は下表のとおりです。

操作インターフェース	説明
	「Profile」(プロフィール)タブでは、表示プロフィールの切替や、再生中のプロフィールに対するビデオ入力の変更を行うことができます。 注意: ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリから、プロフィールを作成することはできません。必要なプロフィールは、アプリを使用する前に Web インターフェース経由で作成しておいてください。詳細は、p.58「プロフィールの追加/再生」を参照してください。 ◆ ビデオマトリックスコントロールアプリ経由でプロフィールに加えた設定変更は、プロフィールが再生中の場合にのみ有効です。また、VM5404H/VM5808H の製品本体には保存されません。 ◆ 入力割り当てのプレビュー(左側の操作インターフェースにある入力番号で表示)は、VM0404HB、VM0808HA、VM0808HB ではサポートされません。

(表は次のページに続きます)

操作インターフェース	説明
	「Control」(操作)タブでは、各出力に対するビデオ入力をすぐに切り替えることができます。
	「Audio」(オーディオ)タブでは、VM5404H/VM5808H のデジタルおよびアナログ出力に対するオーディオ入力を指定することができます。 注意:このタブで利用可能な項目は、接続デバイスによって異なります。

(表は次のページに続きます)

操作インターフェース	説明
	「Settings」(設定)タブでは、各種情報(システムファームウェアアップグレードの通知、現在のアプリのバージョン、技術サポートの問い合わせ先)の確認、およびアプリからのログアウトを行うことができます。

第6章

CLI コマンド

概要

VM5404H/VM5808H のデバイスは、ホストコンピューター、またはコントロールシステムのようなデバイスと接続している場合に、RS-232C または Telnet コマンドを使って、管理や設定を行うことができます。本章では、RS-232C/Telnet コマンド構文を使って VM5404H/VM5808H に接続する方法について説明します。

Telnet 経由でマトリックススイッチャーに接続するには

VM5404H/VM5808H と Telnet セッションを確立するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. VM5404H/VM5808H と共有するネットワークに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコンピューターで、コマンドラインインタプリタープログラムを起動してください。
3. 手順 2 で起動したプログラムで、次のように VM5404H/VM5808H の IP アドレスを入力してください。

telnet [/IP アドレス]:23

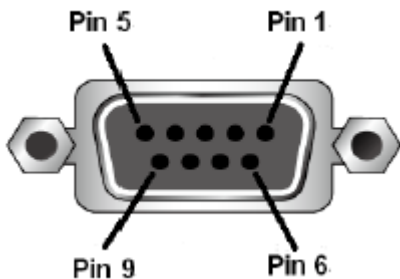
4. **[Enter]**キーを押してください。そうすると、ログイン画面が表示されます。
5. ログインプロンプトで、VM5404H/VM5808H のユーザーネームとパスワードを入力してください。
6. VM5404H/VM5808H とのセッションが確立すると、RS-232C コマンドを使って VM5404H/VM5808H の操作や設定が行えるようになります。コマンドの詳細は p.112「コマンド」を参照してください。

注意： セッションに存在するユーザーネームを使ってログインすると、古いセッションに置き換わって、最新のログインが有効になります。

RS-232C 経由でマトリックススイッチャーに接続するには

VM5404H/VM5808H は、シリアルリモートコントローラーやコンピューターを使って操作を行うことができます。VM5404H/VM5808H に RS-232C 経由で接続するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. お使いのコンピューターにある RS-232C シリアルポートと、VM5404H/VM5808H の RS-232C シリアルポートを、9 ピンのストレートケーブルで接続してください。接続に使用されるのは、ピン 2、ピン 3、ピン 5 のみです。



ピン	説明
1	接続なし
2	RXD
3	TXD
4	接続なし
5	GND
6	接続なし
7	接続なし
8	接続なし
9	接続なし

2. コントローラーのシリアルポートを下表のとおりを設定してください。

RS-232C プロトコル	
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フローコントロール	なし

3. VM5404H/VM5808H とのセッションが確立すると、RS-232C コマンドを使って VM5404H/VM5808H の操作や設定が行えるようになります。コマンドの詳細は p.112「コマンド」を参照してください。

コマンドの入力確認

コマンドが送信されると、下記のような確認メッセージがコマンドラインの最後に表示されます。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、その機能が実行されます。
- ◆ **Command incorrect** - 無効なコマンドまたはパラメーター。

コマンド

VM5404H/VM5808Hに Telnet または RS-232C 経由で接続すると、次のコマンドを使ってシステムを制御することができます。

ポート切替コマンド

ポート切替コマンドでは、VM5404H/VM5808H のポートを切り替えることができます。

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

切替コマンド+入力コマンド+ポート番号+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

1. 例えば、入力ポート 02 を出力ポート 05 に切り替えるには、下記を入力します。

sw i02 o05 [Enter]

2. 出力ポート 04 を次のポートに切り替えるには、下記を入力します。

sw o04 + [Enter]

3. ポート 03 のビデオ出力を OFF にするには、下記を入力します。

sw o03 off [Enter]

本製品のポート切替コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド

入力コマンド	説明
i	入力コマンド

ポート番号	説明
xx	VM5404H:ポート番号 01～04、VM5808H:ポート番号 01～08

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	VM5404H:ポート番号 01～04、VM5808H:ポート番号 01～08
*	出力ポート全て

操作	説明
on	ディスプレイへのビデオ出力 ON
off	ディスプレイへのビデオ出力 OFF
+	次のポート
—	前のポート

- 注意:**
1. デフォルトでは、入力ポート 01 は出力ポート 01 に、入力ポート 02 は出力ポート 02 に、入力ポート 08 は出力ポート 08 に、というように接続されています (例: o01 i01、o02 i02、・・・o08 i08)。
 2. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 3. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

利用可能なポート切替コマンドリストは下表の通りです。

コマンド	入力コマンド	入力ポート	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
SW	i	xx	o	yy *		[Enter]	入力ポート xx を出力ポート yy に切替 (xx: 01～08、* / yy: 01～08、*)
SW			o	yy *	on off	[Enter]	出力ポート yy へのビデオ出力 ON 出力ポート yy へのビデオ出力 OFF (yy: 01～08、*)
SW			o	yy *	＋ －	[Enter]	出力ポート yy を次の出力ポートに切替。 出力ポート yy を前の出力ポートに切替。(yy: 01～08、*)

EDID コマンド

EDID(Extended Display Identification Data)は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。下記のコマンドを使用して、VM5404H/VM5808H が使用する EDID モードを設定することができます。

EDID コマンドの構文は、下記の通りです。

EDID コマンド+操作 [Enter]

例えば、ポート 1 EDID モードを使用するには、下記を入力してください。

edid port1 [Enter]

EDID コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
edid	EDID モードコマンド

操作	説明
port1	ポート 1 に接続されたディスプレイの EDID を実行し、それをビデオソースに送信します。
remix	VM5404H/VM5808H の初回電源投入時、または「remix」オプションを選択した際に接続されているディスプレイの EDID を使用します。
default	ATEN のプリセット EDID を実行します(デフォルト)。
custom	EDID システム設定で設定したカスタマイズモードを実行します (p.91 「EDID のカスタマイズ設定」参照)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能な EDID コマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
edid	port1	[Enter]	ポート 1 からの EDID がビデオソースに送信されます。
edid	remix	[Enter]	VM5404H/VM5808H に電源が投入された際、または「Remix」オプションを選択した際の接続に応じて、各接続ディスプレイの EDID を使用します。
edid	default	[Enter]	ATEN のプリセットの EDID がビデオソースに送信されます。
edid	custom	[Enter]	EDID システム設定で設定したカスタマイズモードを実行します。

ミュートコマンド

ミュートコマンドを使用して、出力ポートからの音声を有効または無効にすることができます

ミュートコマンドの構文は、下記の通りです。

ミュートコマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

例えば、出力ポート 1 からの音声をミュートするには、下記を入力してください。

`mute o01 on` [Enter]

ミュートコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
mute	HDMI 出力ポートの音声を有効/無効にします。

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	VM5404H: ポート 01～04、VM5808H: ポート 01～08。(デフォルトポート 01)
*	出力ポート全て

操作	説明
on	ミュート ON: HDMI 出力ポートの音声を無効にします。
off	ミュート OFF: 音声出力を有効にします(デフォルト)。

注意:

1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
2. 出力ポートコマンドを省略すると、全出力ポートのオーディオを無効または有効にすることができます。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
mute	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy の音声をミュートします。(yy:01～08、*)
mute	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy の音声を有効にします(デフォルト)。(yy:01～08、*)

CEC コマンド

CEC(Consumer Electronics Control)とは、リモコン一つで相互接続した HDMI デバイスの通信や応答を可能にするものです。

CEC コマンドの構文は下記の通りです。

CEC コマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

例えば、出力ポート 1 に対して CEC 機能を有効にするには、下記を入力します。

cec o01 on [Enter]

CEC コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
cec	CEC コントロール

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	VM5404H: ポート 01～04、VM5808H: ポート 01～08 (デフォルトポート 01)
*	出力ポート全て

操作	説明
off	CEC コントロールを無効にします (デフォルト)。
on	CEC コントロールを有効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
cec	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を無効にします (デフォルト)。(yy:01～08、*)
cec	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy に対する CEC を有効にします。(yy:01～08、*)

スケーリングコマンド

スケーリングコマンドでは、出力ポートに接続されたディスプレイをスケーリングする解像度を設定できます。

スケーリングコマンドの構文は下記の通りです。

スケーリングコマンド+出力+値 1+水平解像度+値 2+垂直解像度+値 3+周波数+値 4+操作 [Enter]

- 例えば、出力ポート 2 に対してスケーリング機能を無効にするには、下記を入力します。
`scaling o02 off [Enter]`
- 出力ポート 4 を解像度 1920×1080@60Hz にスケーリングするには、下記を入力します。
`scaling o04 1080p [Enter]`
- 出力ポート全てを接続ディスプレイの実効解像度にスケーリングするには、下記を入力します。
`scaling o* native [Enter]`

スケーリングコマンドで使える値は下表の通りです。

コマンド	説明
scaling	スケーリングコマンド

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

値 1 (ポート番号)	説明
yy	VM5404H: ポート 01～04、VM5808H: ポート 01～08
*	出力ポート全て

水平解像度	説明
hor	スケーリングコマンド (水平解像度)

値 2(水平解像度)	説明
<i>hhhh</i>	水平解像度の値

垂直解像度	説明
<i>ver</i>	スケーリングコマンド(垂直解像度)

値 3(垂直解像度)	説明
<i>vvvv</i>	垂直解像度の値

周波数	説明
<i>freq</i>	スケーリングコマンド(周波数)

値 4(周波数)	説明
<i>fff</i>	解像度の周波数

操作	説明
<i>off</i>	スケーリング機能を無効にします(バイパスモード)。
<i>native</i>	ディスプレイの元々の解像度をマッピングしてスケーリングします(デフォルト)。

注意:

1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
2. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力	値 1	水平 解像度	値 2	垂直 解像度	値 3	周波数	値 4	操作	Enter	説明
scaling	o	yy *							off	[Enter]	出力ポート yy へのスケーリング機能を無効にします(バイパスモード) (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *							native	[Enter]	ディスプレイの実効解像度をマッピングして、出力ポート yy へのスケーリング機能を有効にします(デフォルト) (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1920	ver	1080	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1920×1080@60Hz にスケーリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	720	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×720@60Hz にスケーリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1920	ver	1200	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1920×1200@60Hz にスケーリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1600	ver	1200	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1600×1200@60Hz にスケーリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1400	ver	1050	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1400×1050@60Hz にスケーリングします (yy:01～08 または*)。

(表は次のページに続きます)

コマンド	出力	値 1	水平 解像度	値 2	垂直 解像度	値 3	周波数	値 4	操作	Enter	説明
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	1240	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×1024@60Hz にスケールリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1024	ver	768	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1024×768@60Hz にスケールリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1280	ver	800	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1280×800@60Hz にスケールリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	720	ver	576	freq	50		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 720×576@50Hz にスケールリングします (yy:01～08 または*)。
scaling	o	yy *	hor	1600	ver	900	freq	60		[Enter]	出力ポート yy の解像度を 1600×900@60Hz にスケールリングします (yy:01～08 または*)。

ファン回転速度コマンド

ファン回転速度コマンドでは、VM5404H/VM5808H を冷却するファンの回転速度を設定できます。

ファンの回転速度を設定するには、下記のコマンドを使用してください。

ファン回転速度 + 操作 [Enter]

- 例えば、冷却ファンの回転速度をロースピードに設定するには、下記を入力します。

fan low [Enter]

利用可能なファンの回転速度コマンドは下表の通りです。

コマンド	説明
fan	ファン回転速度コマンド

操作	説明
low	冷却ファンの回転速度をロースピードにします(デフォルト)。
mid	冷却ファンの回転速度をノーマルスピードにします。
high	冷却ファンの回転速度をハイスピードにします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

ファン回転速度コマンドで使える値および構文は下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
fan	low	[Enter]	冷却ファンの回転速度をロースピードにします。
fan	mid	[Enter]	冷却ファンの回転速度をノーマルスピードにします。
fan	high	[Enter]	冷却ファンの回転速度をハイスピードにします。

エコーコマンド

エコー機能は、本製品のフロントパネルにあるプッシュボタン、Web ブラウザまたは telnet から操作が行われた際に、RS-232C コントローラーへ更新されたことをメッセージで伝えます。変更が行われた場合、その変更が RS-232C コントローラーにエコーバックされるので、設定内容を本製品と常に同期することができます。

エコーコマンドの構文は下記の通りです。

エコーコマンド+操作 [Enter]

例えば、エコーコマンドを有効にするには、下記を入力してください。

echo on [Enter]

エコーコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
echo	エコーコマンド

操作	説明
on	エコー機能を有効にします。
off	エコー機能を無効にします(デフォルト)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
echo	on	[Enter]	エコー機能を有効にします。
echo	off	[Enter]	エコー機能を無効にします(デフォルト)。

画面暗転コマンド

画面暗転コマンドでは、ソースデバイスからの信号を検知しなくなった際に、モニターの画面を暗転させます。

画面暗転コマンドの構文は下記の通りです。

画面暗転コマンド+操作 [Enter]

例えば、画面暗転コマンドを有効にするには、下記を入力してください。

blackscreen on [Enter]

画面暗転コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
blackscreen	画面暗転コマンド

操作	説明
on	画面暗転機能を有効にします(デフォルト)。
off	画面暗転機能を無効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

画面暗転機能で利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
blackscreen	on	[Enter]	画面暗転機能を有効にします(デフォルト)。
blackscreen	off	[Enter]	画面暗転機能を無効にします。

読込コマンド

読込コマンドは、デバイスの現在の設定内容、ファームウェアのバージョンおよびその他の情報を参照することができます。

読込コマンドの構文は下記の通りです。

読込コマンド [Enter]

1. デバイスからの情報を読み込んで表示するには、下記を入力してください。

read [Enter]

読込コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
read	読込コマンド

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

読込機能で利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	Enter	説明
read	[Enter]	デバイスに関する情報を表示します。

リセットコマンド

VM5404H/VM5808H を工場出荷時のデフォルトプロファイルにリセットすることができます。

注意: ユーザーアカウント情報も消去されます。

リセットコマンドの構文は下記の通りです。

リセットコマンド [Enter]

リセットコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
reset	リセットコマンド

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

リセットコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	Enter	説明
reset	[Enter]	デバイスの設定をリセットします。

ボーレートコマンド

ボーレートコマンドでは、VM5404H/VM5808H で使用するボーレートを選択することができます。オプションは、9600、19200(デフォルト)、38400、および 115200 です。

ボーレートの設定コマンドの構文は下記の通りです。

ボーレートコマンド+操作 [Enter]

例えば、ボーレート 38400 を選択する場合、下記を入力します。

baud 38400 [Enter]

ボーレートコマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
baud	RS-232C ボーレートを設定します。

操作	説明
9600	ボーレート 9600 を使用します。
19200	ボーレート 19200 を使用します(デフォルト)。
38400	ボーレート 38400 を使用します。
115200	ボーレート 115200 を使用します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

ボーレートコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
baud	9600/19200/38400/ 115200	[Enter]	RS-232C ボーレートを設定します。

プロファイルの保存/呼び出しコマンド

プロファイルの保存/呼び出しコマンドでは、プロファイルの保存や呼び出しをすることができます。保存する場合、現在使用している表示パターンを保存できます。

プロファイルの保存/呼び出しコマンドの構文は下記の通りです。

コマンド+プロファイル+番号+操作 [Enter]

例えば、現在の接続設定をプロファイル番号 02 に保存するには、下記を入力してください。

profile f 02 save [Enter]

プロファイルの保存/呼び出しコマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
profile	プロファイルを保存/呼び出します。

プロファイル	説明
f	プロファイル(番号)

プロファイル番号	説明
yy	VM5404H:01～08、VM5808H:01～16。デフォルトは共に 01。

操作	説明
save	現在のプロファイルを保存します。
load	プロファイルを呼び出します。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

プロファイルの保存/呼び出しコマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	プロファイル	プロファイル番号	操作	Enter	説明
profile	f	yy *	save	[Enter]	接続をプロファイル番号 yy として保存します。VM5404H - yy:01～08、* VM5808H - yy:01～16、*
profile	f	yy *	load	[Enter]	プロファイル番号 yy を呼び出します。 VM5404H - yy:01～08、* VM5808H - yy:01～16、*

OSD コマンド

ディスプレイに対する OSD (オンスクリーンディスプレイ) は、下記のコマンドを使用することで有効または無効にすることができます。

OSD コマンド + 出力 + 番号 + 操作 [Enter]

- 例えば、出力ポート 07 に対して OSD を有効にするには、下記を入力してください。
`osd o07 on [Enter]`
- 例えば、すべての出力ポートに対して OSD を無効にするには、下記を入力してください。
`osd o* off [Enter]`

OSD コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
osd	OSD を有効/無効にします。

出力コマンド	説明
o	出力コマンド

ポート番号	説明
yy	VM5404H:01~04、VM5808H:01~08。デフォルトは共に 01。
*	すべての出力ポート

操作	説明
on	OSD を有効にします (デフォルト)。
off	OSD を無効にします。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

OSD コマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
osd	o	yy *	on	[Enter]	出力ポート yy に対して OSD を有効にします。 (yy:01～08 または*)。
osd	o	yy *	off	[Enter]	出力ポート yy に対して OSD を無効にします。 (yy:01～08 または*)。

警告コマンド

特定の入力ポートで問題が発生した際に警告を通知することができます。構文は、下記のとおりです。

警告コマンド+入力+番号+操作 [Enter]

- 例えば、入力ポート 01 に対して基本警告機能を有効にするには、下記を入力してください。

alert i01 m1 [Enter]

警告コマンドで利用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
alert	警告コマンド

入力コマンド	説明
i	入力コマンド

ポート番号	説明
yy	VM5404H:01～04、VM5808H:01～08

操作	説明
off	警告を無効にします(デフォルト)。
m1	基本警告を表示します(枠が点滅表示)。
m2	詳細警告を表示します(枠とポート情報が点滅表示)。

注意: 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。

警告コマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	入力 コマンド	入力 ポート	操作	Enter	説明
alert	i	yy	off	[Enter]	入力ポート yy の警告を OFF にします。(yy:01～08 または*)
alert	i	yy	m1	[Enter]	入力ポート yy の基本警告を表示します。(yy:01～08 または*)
alert	i	yy	m2	[Enter]	入力ポート yy の詳細警告を表示します。(yy:01～08 または*)

付録

製品仕様

	VM5404H	VM5808H
デバイス接続数	4	8
ディスプレイ接続数		
最大	4	8
ビデオ入力		
インターフェース	HDMI Type-A メス×4	HDMI Type-A メス×8
インピーダンス	100 Ω	
最大距離	ソースデバイスとの最大距離: 2 m	
ビデオ出力		
インターフェース	HDMI Type-A メス×4	HDMI Type-A メス×8
インピーダンス	100 Ω	
最大距離	ディスプレイとの最大距離: 15 m	
制御		
RS-232C	コネクタ: DB-9 ピン メス×1 ボーレート/プロトコル: ボーレート: 19200、データビット: 8、ストップビット: 1、パリティ: 無、 フローコントロール: 無	
IR	入力: ミニジャック×1	
イーサネット	RJ-45 メス×1	
ビデオ		
最大解像度	最大 1080p	
最大データ伝送速度	6.75 Gbps	
最大ピクセルクロック	225 MHz	
規格準拠	HDMI(3D、Deep Color)、HDCP 1.4、CEC	
EDID 設定	デフォルト / ポート 1 / リミックス / カスタマイズ (EDID ウィザード対応)	

(表は次のページに続きます)

	VM5404H	VM5808H
スイッチ		
選択	In:プッシュボタン×4 Out:プッシュボタン×4 Previous:プッシュボタン×1 Next:プッシュボタン×1 Cancel:プッシュボタン×1 Menu:プッシュボタン×1 Profile:プッシュボタン×1 Enter:プッシュボタン×1	In:プッシュボタン×8 Out:プッシュボタン×8 Cancel:プッシュボタン×1 Menu:プッシュボタン×1 Profile:プッシュボタン×1 Enter:プッシュボタン×1
電源	ロッカースイッチ×1	
電源		
電源仕様	AC 100～240V、50/60Hz、1A (日本仕様は PSE 対応 3P/100V 電源コードを同梱)	
コネクタ	3 極 AC 電源ソケット×1	
消費電力	AC100V:34.1W AC220V:34.4W	AC100V:56.5 W AC220V:55.0 W
動作環境		
動作温度	0～50℃	
保管温度	-20～60℃	
湿度	0～80% RH、結露なきこと	
ケース		
ケース材料	メタル	
重量	4.05 kg	4.16 kg
サイズ(W×D×H)	433×263×44 mm	433×263×44 mm
同梱品	電源ケーブル×1 IR リモコン(型番:2XRT-0106G)×1 IR レシーバー(型番:2XRT-0003G)×1 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

Telnet 操作

Telnet セッションを使用して、VM5404H/VM5808H にログインする場合は、p.110「Telnet 経由でマトリックススイッチャーに接続するには」に記載されている手順に従って操作を行ってください。

設定メニュー

VM5404H/VM5808H への Telnet セッションが確立すると、デバイスのテキストベースの設定メニューが下記のように表示されます。

1. H - ヘルプのコマンドリストの呼び出し

コマンドリスト:

GT - ゲートウェイアドレスの設定

IM - IP サブネットマスクの設定

IP - IP アドレスの設定

LO - プロファイル番号 *nn* からの接続読込

PW - パスワード変更

RI - どの入力ポートが出力ポート番号 *nn* に接続されているかを読込

RO - どの出力ポートが入力ポート番号 *nn* に接続されているかを読込

SB - シリアルポートのボーレートを設定

SS - 入力ポート番号を指定したポートに切替

SV - 現在のプロファイルをプロファイル番号 *nn* に保存

TI - タイムアウトを設定

VR - ソフトウェアのバージョン情報

Ctrl-Q - 終了

2. GT - ゲートウェイアドレスの設定

GT

旧ゲートウェイアドレス:192.168.0.1

新ゲートウェイアドレス:

3. IM - IP サブネットマスクの設定

IM

旧 IP サブネットマスク:255.255.255.0

新 IP サブネットマスク:

4. IP - IP アドレスの設定

IP

旧 IP アドレス:192.168.0.60

新 IP アドレス:

5. LO - プロファイルからの接続読込

LO 01

プロファイル番号 01 の読込 OK

6. PW - パスワードの変更

PW

旧パスワード:*****

新パスワード:

7. RI - どの入力ポートが出力ポート番号 *nn* 接続されているかを読込

RI 01

入力ポート番号 02、04、08 が出力ポート番号 01 に接続されています。

8. RO - どの出力ポートが入力ポート番号 *nn* に接続されているかを読込

RO 01

出力ポート番号 02 が入力ポート番号 01 に接続されています。

9. SB - シリアルポートのボーレートを設定

SB 96

シリアルポートのボーレートは 9600 に設定されています。

10. SS - 入力ポートを指定した出力ポートに切替

SS 01, 03

入力ポート番号 01 を出力ポート番号 03 に切り替えます。

11. SV - 現在の表示パターンをプロファイルに保存

SV 01

現在の表示パターンをプロファイル番号 01 に保存します。

12. TI - タイムアウトの設定

TI 30

タイムアウトを 30 分に設定します。

13. VR - ソフトウェアのバージョン情報

VR

ソフトウェアのバージョンは 1.0 です。